

10月24日(水) 9:30~12:30 A会場

2007年新潟県中越沖地震, 2007年能登半島地震:地震発生場から被害まで
(講演時間12分・質疑応答3分 招待講演は講演時間が一部異なります)

座長 堀 高峰・横井俊明・平松良浩・堀川晴央

- 9:30 A11-01* 2007年新潟県中越沖地震の概要 °気象庁地震火山部
- 9:45 A11-02* 平成19年新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル(その1)
°国土地理院中越沖地震地殻変動解析グループ(国土地理院)
- 10:00 A11-03* 防災科研地震観測網による2007年新潟県中越沖地震の解析結果
防災科学技術研究所地震観測データセンター(°青井 真)
- 10:15 A11-04* 2007年新潟県中越沖地震の震源過程と強震動 °顔巖一起・地震研強震動グループ(東大地震研)
- 10:30 A11-05* 2007年新潟県中越沖地震の余震活動と本震震源断層
°平田 直・佐藤比呂志・金沢敏彦・酒井慎一・岩崎貴哉・篠原雅尚・望月公廣・
山田知朗(東大地震研)・高波鐵夫・村井芳夫(北大理)・日野亮太・
伊藤喜宏(東北大理)・植平賢司(九大理)・小平秀一(海洋機構)・
山崎 明(気象研)・2007年新潟県中越沖地震合同余震観測グループ
- 10:45 A11-06* 科学技術振興調整費「2007年新潟県中越沖地震に関する緊急調査研究」の概要
°杉山雄一・岡村行信(産総研)・金田義行(JAMSTEC)・佐藤比呂志(東大地震研)・
小原一成(防災科技研)・谷岡勇市郎(北大)
- 11:00 休憩
- 11:15 趣旨説明 °堀川晴央(産総研活断層セ)・岩田知孝(京大防災研)・平松良浩(金沢大理)
- 11:20 A11-07* 能登半島の形成と地震テクトニクス °竹内 章(富山大院理工)
- 11:40 A11-08 2007年能登半島地震余震域の重力異常と地殻構造
°本多 亮(北大地震火山セ)・平松良浩(金沢大理)・河野芳輝(金沢大名誉教授)・
片川秀基(北陸電力)
- 11:55 A11-09* 合同余震観測データに基づく2007年能登半島地震震源域の特徴
°加藤愛太郎・酒井慎一・飯高 隆・岩崎貴哉・蔵下英司・五十嵐俊博・平田 直・
金沢敏彦(東大地震研)・2007年能登半島地震合同余震観測グループ
- 12:15 A11-10 2007年能登半島地震震源域周辺の比抵抗構造
°吉村令慧・大志万直人(京大防災研)・上嶋 誠(東大地震研)・
2007年能登半島地震震源域比抵抗研究グループ

10月24日(水) 9:30~12:35 B会場

沈み込み帯のダイナミクスと地震・火山活動モデルの高度化
(講演時間12分・質疑応答3分 招待講演は講演時間が異なります)

座長 加藤尚之・國友孝洋・鎌谷紀子

- 9:30 趣旨説明
- 9:35 B11-01 固着域周辺の応力蓄積をアクロスでどう検知するか?
°藤井直之(静大理)・國友孝洋・熊澤峰夫・中島崇裕(静大理, 東濃地震科研/日本原子力機構)・
里村幹夫・増田俊明(静大理)
- 9:50 B11-02 弾性波アクロスによる東海地域の地殻深部常時監視の試み °國友孝洋(静大理)

* は招待講演

- 10:05 B11-03 伊豆半島におけるアクロス信号送信：観測的構造地質学+アルファ
 °増田俊明・新妻信明・里村幹夫・海野 進（静理）・小山真人（静大教育）・藤井直之・熊澤峰夫・
 國友孝洋・中島崇裕（静大理客員）
- 10:20 B11-04 アレイから分かるアクロス伝達関数の周波数依存性の空間変動
 °伊藤広和（静大院理）・藤井直之（静大理）・羽佐田葉子・渡辺俊樹（名大環境）・熊澤峰夫・
 國友孝洋（静大理）
- 10:35 B11-05 東海地震の想定震源域地殻内の地震活動変化とその意味
 °鎌谷紀子（気象庁）・弘瀬冬樹（気象研）・山田安之・西 政樹・林元直樹・碓井勇二・
 吉川澄夫（気象庁）・勝間田明男（気象研）
- 10:50 B11-06 非火山性群発地震活動は火山の始まりか？—和歌山県有田郡地域の例—
 °加藤愛太郎・酒井慎一・飯高 隆・平田 直・岩崎貴哉・金沢敏彦（東大地震研）
- 11:05 休憩
- 11:15 B11-07* 南海トラフ紀伊半島沖の海底観測ネットワークの構築
 °金田義行・川口勝義・荒木英一郎・松本浩幸・神谷眞一郎・中村武史・
 有吉慶介（DONET, JAMSTEC）・堀 高峰・馬場俊孝（IFREE, JAMSTEC）
- 11:35 B11-08 付加体形成過程の粒子モデル °堀 高峰・阪口 秀（IFREE, JAMSTEC）
- 11:50 B11-09 Along-strike variations in thermal regime for the Nankai Trough, implication for the location
 of the seismogenic zone
 °Boris Marcaillou・Masataka Kinoshita・Shuichi Kodaira・Yoshio Fukao（IFREE, JAMSTEC）
- 12:05 B11-10 宮城県沖における海底地殻変動観測 °長田幸仁・木戸元之・三浦 哲・藤本博己（東北大理予知セ）
- 12:20 B11-11 宮城県沖および福島県沖前弧域の地震学的構造 °山本揚二郎・日野亮太・鈴木健介・伊藤喜宏（東北大理）・山田知朗・篠原雅尚・
 金沢敏彦（東大震研）・田中昌之（気象庁）・金田義行（海洋研究開発機構）・
 植平賢司（九大島原）

10月24日（水） 9:30~12:30 C会場

地殻変動・GPS・重力、地球及び惑星の深部構造と物性

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 橋本 学・木戸元之・末次大輔

- 9:30 C11-01 GPS/音響海底測地観測における海中音速の傾きについて °木戸元之・長田幸仁・藤本博己（東北大理予知セ）
- 9:45 C11-02 熊野灘における海底地殻変動観測と南海トラフのプレート間カップリング推定
 °渡部 豪・田所敬一・杉本慎吾・奥田 隆・武藤大介・木元章典（名大）・久野雅博（三重県科技振セ）
- 10:00 C11-03 インバース問題における系統誤差の除去：関東地震の測地データ解析 °野田朱美・深畑幸俊・松浦充宏（東大理）
- 10:15 C11-04 GPS データによる西南日本のプレート間カップリングとブロック回転運動の同時推定
 °宮尾佳世・三浦 哲・太田雄策・長谷川昭（東北大院理）・中尾 茂（鹿児島大理）・
 Laura Wallace（GNS）
- 10:30 C11-05 西表島で半年毎に発生するゆっくり地震 片岡 健・°日置幸介（北大院理）
- 10:45 C11-06 ENVISAT データによる2006年2月22日モザンビーク地震の地震時及び余効変動 °橋本 学・福島 洋（京大防災研）・小澤 拓（防災科研）

- 11:00 休憩
- 11:15 C11-07 InSAR を用いた 2007 年 4 月 21 日アイゼン地震 (チリ) 発生前後における地殻変動解析
 °福島 洋 (京大防災研)
- 11:30 C11-08 アラスカ州南東部における氷河後退に伴う高速地殻隆起の総合測地観測—海洋潮汐・領域モデルの改良—
 °稲津大祐 (統数研)・佐藤忠弘 (東北大理予知セ)・中村和幸 (統数研)・三浦 哲 (東北大理予知セ)・樋口知之 (統数研)・藤本博己 (東北大理予知セ)・Chris LARSEN (アラスカ大学)
- 11:45 C11-09 キネマティック GPS による固体地球潮汐応答解析 °山本淳平・伊藤武男 (名大院環境)
- 12:00 C11-10 Modeling French Polynesia hotspot swells by dynamic topography based on a new regional tomographic model
 °アダム・クラウドシア・吉田晶樹・一瀬建日・末次大輔 (海洋研究開発機構)・塩原 肇 (東大地震研)・杉岡裕子・深尾良夫 (海洋研究開発機構)・金澤敏彦 (東大地震研)・バリオル・ギエム (モンペリエ II 大学)
- 12:15 C11-11 南太平洋スーパーブルームの全体像
 °末次大輔・田中 聡・大林政行・一瀬建日 (海洋研究開発機構)・塩原 肇 (東大地震研)・杉岡裕子 (海洋研究開発機構)・Guilhem Barruol (Montpellier II Univ.)・吉光淳子 (海洋研究開発機構)・金沢敏彦 (東大地震研)・深尾良夫 (海洋研究開発機構)

10月24日(水) 9:30~12:15 D会場

地震の理論・解析法
 (講演時間 12 分・質疑応答 3 分)
 座長 伊藤喜宏・中原 恒・綿田辰吾

- 9:30 D11-01 海底地震観測網による震源との比較に基づく波形・走時ハイブリッドモーメントテンソル解析法の検証
 °伊藤喜宏・山本揚二郎・鈴木健介・日野亮太 (東北大)・松原 誠・小原一成 (防災科研)
- 9:45 D11-02 周波数領域におけるひずみ解析 —震源時間関数推定への応用— °大久保慎人 (東濃地震科研)
- 10:00 D11-03 波形相関総和を用いた新しい震源決定法:東海地域の低周波地震への適用
 °太田和晃・井出 哲 (東大理)
- 10:15 D11-04 遠地の P 波からみた高周波エネルギー放射の統計的性質 °原 辰彦 (建築研国際地震工学セ)
- 10:30 D11-05 フォン・カルマン型ランダム媒質におけるベクトル波エンベロープの合成
 °須崎敦史・佐藤春夫・西村太志 (東北大理)
- 10:45 D11-06 Passive Image Interferometry による地下構造の時間変化の検出 —2005 年福岡県西方沖地震への適用
 °中原 恒 (東北大)・Ulrich WEGLER (BGR・独)・汐見勝彦 (防災科研)
- 11:00 休憩
- 11:15 D11-07 地殻構造解析の総合的解釈手法
 °笠原順三・鶴我佳代子 (日本大陸棚調査)・久保田隆二・西山英一郎・大沼 寛 (川崎地質)・田中智之・宇納貞夫 (地科研)・金田謙太郎・西澤あずさ (海上保安庁海洋情報部)
- 11:30 D11-08 自己適応不規則グリッドによるマルチスケール走時トモグラフィ手法の開発
 °干野 真 (産総研)
- 11:45 D11-09 時間変動する大気下端からの大気音波・重力波の放射と境界波の発生:密度成層する等温大気の場合
 °綿田辰吾 (東大地震研)

12:00 D11-10 標準地球モデルのための解析的な実効差分格子パラメータの計算
°豊国源知・竹中博士（九大理地惑）

10月24日（水） 13:30~15:30 A会場

2007年能登半島地震：地震発生場から被害まで
（講演時間12分・質疑応答3分）
座長 岩田知孝・堀川晴央

- 13:30 A12-01 2007年能登半島地震の主破壊直前の前震活動 °神定健二（気象庁）
- 13:45 A12-02 近地P波記録から推定した2007年能登半島地震の第2震源・初期破壊・主破壊とアスペリティ
°山本容維（地盤研究財団）・竹中博士（九大理）
- 14:00 A12-03 経験的グリーン関数を用いた波形インバージョンによる2007年能登半島地震の震源モデル
°野津 厚（港空研）
- 14:15 A12-04 強震波形とGPS変位記録から推定した2007年能登半島地震の震源過程
°浅野公之・岩田知孝（京大防災研）
- 14:30 A12-05 2007年能登半島地震による強震動記録
°前田宜浩・一柳昌義・高橋浩晃・本多 亮・山口照寛・笠原 稔（北大理）・笹谷 努（北大工）
- 14:45 A12-06 2007年能登半島地震による輪島市門前町道下における建物被害分布と余震による地震動増幅特性
°松波孝治・林 春男・吉富 望（京大防災研）・中村正夫（元東大地震研）・藤原悌三（滋賀県立大環境）・
郷 隆之（ジオシス）・原口幸子（滋賀県立大環境院）・井ノ口宗成（京大情報院）
- 15:00 A12-07 物理探査とサウンディングによるK-NET穴水観測点近傍の浅部地盤構造調査
°林 宏一（応用地質）・田村昌仁・平出 務（建築研）・Yu Shizhou（中国地震省）・
村岡正隆（タカノホーム）・菊地康明（ポラス暮し科学研）
- 15:15 A12-08 2007年能登半島地震における穴水での地震動特性
°岩田知孝・浅野公之・岩城麻子・栗山雅之・鈴木 亘・Oprsal Ivo・澤崎絵理子（京大防災研）

10月24日（水） 13:30~15:40 B会場

沈み込み帯のダイナミクスと地震・火山活動モデルの高度化
（講演時間12分・質疑応答3分 招待講演は講演時間が異なります）
座長 小原一成・日野亮太

- 13:30 B12-01 放射特性を用いた2005年宮城県沖の地震（M7.2）の余震のメカニズム解分布
°鈴木健介・日野亮太・山本揚二郎・伊藤喜宏（東北大理）・金沢敏彦・山田知朗・
篠原雅尚（東大地震研）・植平賢司（九大理）・田中昌之（気象庁）・
金田義行（海洋研究開発機構）
- 13:45 B12-02 Earthquake generating stress of the offshore double-planed shallow seismic zone in the NE Japan forearc region
°Shantha S.N. Gamage・Norihito Umino and Akira Hasegawa
- 14:00 B12-03 日本海溝アウターライズの小海丘とM7.1地震 —KR07-07 航海速報—
°藤本博己（東北大）・Stephen Kirby (USGS)・阿部なつ江 (JAMSTEC)・日野亮太・木戸元之・
長田幸仁・対馬弘晃（東北大）・小池悠己 (JAMSTEC)・青木美澄（日本海洋事業）

- 14 : 15 B12-04 2005 年に三陸沖 trench outer rise 域で発生したプレート内地震 (M 7.1) の余震分布
 °日野亮太・伊藤喜宏・山本揚二郎・鈴木健介・鈴木秀市 (東北大理)・宮下 誠・友利敏宏 (気象庁地震火山部)・有菌光春・丹下 豪 (仙台管区気象台)
- 14 : 30 B12-05 すず書き記録による 1933 年三陸沖地震 (M 8.1) の再検討
 °海野徳仁・河野俊夫・長谷川昭 (東北大理予知セ)・田村良明 (国立天文台水沢)
- 14 : 45 B12-06* The Sanriku Subduction Zone °Hiroo Kanamori (CALTECH)
- 15 : 05 B12-07* 日本近辺のゆっくりすべり (レビュー) °川崎一朗 (京大防災研)
- 15 : 25 B12-08 プレート境界遷移領域ゆっくりすべりの指標としての深部低周波微動
 °小原一成・前田拓人・関根秀太郎・廣瀬 仁・上野友岳 (防災科技研)

10月24日(水) 13:30~15:45 C会場

地球及び惑星の深部構造と物性
 (講演時間 12 分・質疑応答 3 分)
 座長 河合研志・大木聖子

- 13 : 30 C12-01 東南極リュット・ホルム湾地域及びスリランカの上層マントル異方性
 °臼井佑介 (機構融合セ)・金尾政紀 (極地研)・久保篤規 (高知大)
- 13 : 45 C12-02 回折 P 波を用いた核-マントル境界上の P 波速度構造推定
 °東野陽子・深尾良夫・坪井誠司 (IFREE, JAMSTEC)
- 14 : 00 C12-03 J-array と IMS-array で観測された P4KP-PcP 走時による CMB 地形モデルの検討
 °田中 聡 (IFREE, JAMSTEC)
- 14 : 15 C12-04 西太平洋における最下部マントル超低速度層の分布域と S 波速度構造
 °出原光暉・山田 朗 (愛媛大)・趙 大鵬 (東北大)
- 14 : 30 C12-05 波形インバージョンによる西アジアの下の D'' 層構造推定
 °河合研志 (東工大理工)・関根秀太郎 (防災科研)・富士延章・ゲラー ロバート (東大理)
- 14 : 45 C12-06 スタグナントスラブモデルに対する理論波形について
 °坪井誠司・杉岡裕子・大林政行・深尾良夫 (IFREE, JAMSTEC)・Yuan Gao (中国地震局)
- 15 : 00 C12-07 北西太平洋下の SH 波速度構造および非弾性減衰パラメーター $Q\mu$ 構造推定について
 °富士延章 (東大理)・河合研志 (東工大理工)・ゲラー ロバート (東大理)
- 15 : 15 C12-08 短周期実体波による全マントル 1 次元 Q モデル °大木聖子・Peter Shearer (UCSD)
- 15 : 30 C12-09 月探査機かぐや (SELENE) による月の重力・測地探査
 °佐々木 晶・花田英夫・荒木博志 (国立天文台)・並木則行 (九州大)・岩田隆浩 (JAXA)・河野宣之・松本晃治・野田寛大・鶴田誠逸・浅利一善・田澤誠一・石川利昭・菊池冬彦・劉 慶会・ホーセンス サンダー・石原吉明・坪川恒也 (国立天文台)・高野 忠 (JAXA)

10月24日(水) 13:30~15:45 D会場

地震計測・処理システム
 (講演時間 12 分・質疑応答 3 分)
 座長 山水史生・植平賢司

- 13 : 30 D12-01 中深層観測井の信号ケーブルに使用される絶縁体材料の高温高圧負荷試験
 °山水史生・鈴木宏芳 (防災科研)・小泉 茂 (OCC)

- 13:45 D12-02 **ボアホール型折りたたみ振り子傾斜計の開発**
 °高森昭光 (東大地震研)・Alessandro Bertolini (DESY)・Riccardo DeSalvo (Caltech)・
 金沢敏彦・篠原雅尚・森田裕一・新谷昌人 (東大地震研)
- 14:00 D12-03 **新たなボアホール型体積歪データ収録システムと簡便なモニター方式**
 °高波鐵夫・町田祐弥 (北大地震火山セ)・Selwyn Sacks・Alan Linde・Michael Acierno・
 Brian Schleigh (DTM, Carnegie Inst. of Washington)
- 14:15 D12-04 **3成分歪計による歪地震動の実体波解析による震源過程**
 °スベシ ギミレ・笠原 稔・山口照寛 (北大地震火山セ)・本多 亮 (神奈川温地研)
- 14:30 D12-05 **満点(万点)計画 一次世代型地震観測システムの開発—**
 °飯尾能久・三浦 勉・片尾 浩・澁谷拓郎・宮澤理稔・井口正人・平野憲雄・西村和浩・
 大見士朗 (京大防災研)・平原和朗・大倉敬宏 (京大理)・松本 聡 (九大島原)・
 高島一徳・大橋善和 (近計システム)・古屋和雄 (サイモテック)
- 14:45 D12-06 **海底ケーブル式稠密地震観測システムの開発 (2)**
 °金沢敏彦・篠原雅尚・酒井慎一・佐野 修・歌田久司・塩原 肇・望月公廣・森田裕一・
 山田知朗 (東大地震研)・山崎克之 (長岡技科大)・八木健夫 (東大地震研)
- 15:00 D12-07 **地震観測点におけるデータバックアップシステムの開発** °植平賢司 (九大地震火山セ)
- 15:15 D12-08 **建物用IT強震計システムでみれるもの (2)**
 °鷹野 澄 (東大地震研)・伊藤貴盛 (応用地震計測)
- 15:30 D12-09 **首都圏地震観測網 (MeSO-net) の構築**
 °笠原敬司・酒井慎一・森田裕一・平田 直・卜部 卓・鷹野 澄・鶴岡 弘・中川茂樹 (東大地震研)

10月24日(水) 15:50~16:55 A会場

若手学術奨励賞記念講演
 (講演時間 25分・質疑応答 5分)

- 15:55 3次元複雑断層系における地震発生過程の理論的研究 青地秀雄
- 16:25 表面波の波形解析と有限波長トモグラフィー法に関する理論的・実践的研究 吉澤和範

10月25日(木) 9:00~12:15 A会場

リアルタイム地震情報
 (講演時間 12分・質疑応答 3分 招待講演は講演時間が異なります)
 座長 久田嘉章・上垣内 修・青井 真

- 9:00 趣旨説明
- 9:05 A21-01* Earthquake Early Warning °Hiroo Kanamori (CALTECH)
- 9:30 A21-02* 緊急地震速報の提供開始に係る気象庁の取組み °斎藤 誠 (気象庁)
- 9:50 A21-03* 緊急地震速報の精度と今後の課題
 °堀内茂木・中村洋光・山本俊六・呉 長江 (防災科学技術研究所)
- 10:10 A21-04* 学校における緊急地震速報の利活用システムと実証試験 °源栄正人 (東北大工)
- 10:30 休憩
- 10:45 A21-05 緊急地震速報の利活用システムについて °藤縄幸雄 (REIC)

- 11:00 A21-06 緊急地震速報を活用した鉄道の早期地震警報システム
 °芦谷公稔・岩田直泰・是永将宏・佐藤新二（鉄道総研）・小高俊一・中村正博（ANET）・大野武士・小宮山武（伊藤忠テクノ）
- 11:15 A21-07 緊急地震速報とリアルタイム地震観測システムを活用した超高層建築の地震防災対策
 °久保智弘（ABSコンサルティング）・久田嘉章（工学院大学）・堀内茂木（防災科研）・山本俊六（防災科研）
- 11:30 A21-08 千葉県における K-NET と震度観測網を用いた面的地震動推定
 °大井昌弘（防災科研）・浅尾一已・浅岡 隆（千葉県消防地震防災課）・藤原広行（防災科研）
- 11:45 A21-09 緊急地震速報は本当に住民の退避行動を促進するか？ 起震車を用いて東海地震を想定した検証実験
 °村越 真・小山真人（静岡大教育）・石原寛子（NPO 法人 M-nop）・鈴木吉彦・岩崎大輔（静岡放送）・岩田孝仁（静岡県防災局）
- 12:00 A21-10 海溝型大地震を対象とした緊急地震速報における予測震度の簡易補正手法
 °林 能成（名大）・伊藤貴盛（応用地震計測）・山中佳子（名大）・久保篤規（高知大）

10月25日（木） 9:00~12:15 B会場

沈み込み帯のダイナミクスと地震・火山活動モデルの高度化
 （講演時間 12 分・質疑応答 3 分 招待講演は講演時間が異なります）
 座長 内田直希・松原 誠・趙 大鵬

- 9:00 B21-01 小繰り返し地震からの変換波による関東地方のフィリピン海プレートの形状推定
 °内田直希・松澤 暢・中島淳一・長谷川 昭（東北大理）・弘瀬冬樹（気象研）
- 9:15 B21-02 プレート境界における非相似地震と相似地震の関係
 °荒尾正克・松澤 暢・内田直希（東北大理）・有吉慶介（JAMSTEC）・長谷川 昭（東北大理）
- 9:30 B21-03 相似地震活動と震源の深さとの関係
 °有吉慶介・堀 高峰・金田義行（JAMSTEC）・松澤 暢・日野亮太・長谷川 昭（東北大理）
- 9:45 B21-04 高感度加速度計データを用いて推定された相似地震の震源メカニズム解と沈み込む太平洋プレートの最大勾配方向と進行方向
 °松原 誠（防災科研）・八木勇治（筑波大学）
- 10:00 B21-05* In search of sources of heterogeneity in the seismicity of subduction zones
 °Stephen H. Kirby (U.S. Geological Survey)・The Research Group of Research Center for Prediction of Earthquakes and Volcanic Eruptions, Tohoku Univ.
- 10:20 B21-06* 沈み込み帯における水の循環と地震・火山活動—東北日本を例として °長谷川 昭（東北大理）
 10:40 休憩
- 10:50 B21-07 東北日本下のスラブ内地震の震源分布と起震応力場の特徴
 °北 佐枝子・岡田知己・中島淳一・松澤 暢・内田直希・長谷川 昭（東北大理理）・Stephen H. Kirby（米国地質調査所）
- 11:05 B21-08 Double-Difference Tomography による太平洋プレート海洋性地殻のイメージング
 °辻 優介・中島淳一・北 佐枝子・岡田知己・松澤 暢・長谷川 昭（東北大理）
- 11:20 B21-09* より深部への水の輸送について °川勝 均（東大地震研）
- 11:40 B21-10* 沈み込み帯の水輸送・火成—変成作用と地球規模での水循環 °岩森 光（東大理）
- 12:00 B21-11 西太平洋沈み込み帯の浅部と深部構造 °趙 大鵬・植木真人・海野徳仁・長谷川 昭（東北大理）

10月25日(木) 9:00~12:15 C会場

地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 井出 哲・八木勇治・亀 伸樹

- 9:00 C21-01 四国西部で発生した深部超低周波地震のメカニズム解とすべり継続時間の推定
°松澤孝紀・小原一成・前田拓人(防災科研)
- 9:15 C21-02 100秒程度のゆっくり地震—広帯域微動解析による検証
°井出 哲(東大理)・今西和俊(産総研)・吉田康宏(気象研)
- 9:30 C21-03 2004年新潟県中越地震と2007年能登半島地震の直後の余震
°Jim Mori・加納靖之(京大防災研)・Bogdan Enescu(GFZ, GER)
- 9:45 C21-04 自然地震の断層面を透過する地震波
°村上 理・吉田真吾・中谷正生・加藤愛太郎・平田 直(東大地震研)
- 10:00 C21-05 Ultra-micro seismic event in the Yamasaki fault observed using hydrophone array
°加納靖之・Jim Mori・柳谷 俊(京大防災研)・伊藤久男(JAMSTEC)・桑原保人(産総研)
- 10:15 C21-06 高サンプリングの地震波形データ解析における共分散成分の重要性について—標準的な震源過程モデルの構築に向けて—
°八木勇治(筑波大生命環境)・深畑幸俊(東大理)
- 10:30 休憩
- 10:45 C21-07 地震波形と水準測量データから見た1946年南海地震の震源過程
°室谷智子・島崎邦彦・額縁一起(東大地震研)
- 11:00 C21-08 2004年Parkfield地震のマルチスケール震源モデル
°内出崇彦・井出 哲(東大理)・Gregory C. Beroza(スタンフォード大)
- 11:15 C21-09 動的破壊の新計算法の開発:FDM-BIEMハイブリッド法(A new hybrid FDM-BIEM approach for dynamic rupture simulation)
°亀 伸樹(九大理)・青地秀雄・Ariane DUCCELLIER(仏地質調査所)
- 11:30 C21-10 Asperityの破壊(3)
°福山英一(防災科研)
- 11:45 C21-11 Multi-scale heterogeneous fault system for dynamic rupture events during a seismic cycle
°青地秀雄(BRGM)・井出 哲(東大理)
- 12:00 C21-12 リーデル剪断面での破壊核形成とY剪断面での高速破壊:メソスケールを考慮したモデル化
°安藤亮輔(防災科研・CREST/科学技術振興機構)・大槻憲四郎(東北大理)・萩原晴菜(東北大理, 鶴岡南高校)

10月25日(木) 9:00~12:15 D会場

活断層と古地震

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 中野 優・林 広樹・伊藤 忍

- 9:00 D21-01 歴史地震の震源域位置および規模の系統的再検討—第9報—(九州の地震など8地震)
°松浦律子(地震予知振興会)・中村 操・唐鎌郁夫(防災情報サ)
- 9:15 D21-02 1909年宮崎県西部地震の震度分布と地震規模の再評価—2006年大分県西部の地震(M=6.2)との比較
°武村雅之・神田克久(小堀鐸二研)

- 9:30 D21-03 地表地震断層出現率の再検討 —いわゆる「未知の活断層」評価の重要性—
 °遠田晋次 (産総研活断層セ)
- 9:45 D21-04 スマトラ断層で発生した双子地震—プリアパートベイズンにおける断層系の破壊様式とその意義—
 °中野 優・熊谷博之・山品匡史・井上 公 (防災科研)・遠田晋次 (産総研活断層セ)
- 10:00 D21-05 Non-uniform slip rate along the strike-slip Kunkun fault, northern Tibet
 °林 愛明 (静岡大院)
- 10:15 D21-06 会津盆地東縁断層帯の第四紀後期の活動と若松活動セグメントの最新活動
 °粟田泰夫 (産総研活断層セ)・三輪敦志 (応用地質)・新井孝志 (大和地質)・平松晋一 (応用地質)
- 10:30 休憩
- 10:45 D21-07 神奈川県山北町南部の地質構造：特に国府津—松田断層系の西端について
 °林 広樹・中満隆博 (島根大)・上杉 陽 (都留文大)・小田原啓 (神奈川県温地研)・伊藤谷生 (千葉大)・佐藤比呂志 (東大地震研)・関口涉次・武田哲也 (防災科研)・笠原敬司 (東大地震研)
- 11:00 D21-08 2003 年宮城県北部地震の震源域における過去の断層活動 —海浜堆積物を用いた伏在断層の活動履歴評価の試み—
 °宍倉正展 (産総研活断層セ)・小松原純子 (産総研地質情報)・Than Tin Aung・澤井祐紀・岡村行信 (産総研活断層セ)・石山達也 (東北大)
- 11:15 D21-09 869 年貞観津波の波源モデル—仙台・石巻平野の津波堆積物分布と浸水シミュレーションに基づく—
 °佐竹健治・行谷佑一・宍倉正展・澤井祐紀・岡村行信 (産総研)・山木 滋 (シーマス)
- 11:30 D21-10 反射法地震探査による新潟県十日町断層帯周辺の深部構造
 °伊藤 忍・横倉隆伸・山口和雄・加野直巳・大滝壽樹・牧野雅彦・住田達哉 (産総研地質情報)
- 11:45 D21-11 綾瀬川断層から菖蒲坑井に至る浅部地下構造
 °山口和雄・加野直巳・住田達哉・大滝壽樹・牧野雅彦・横倉隆伸 (産総研地質情報)
- 12:00 D21-12 跡津川断層における、地震/非地震活動領域の破砕組織比較研究
 °廣川智隆 (東大)・松田達生 (防災科研)・田中秀実 (東大)・小村健太郎 (防災科研)

10月25日(木) 13:15~16:55 A会場

リアルタイム地震情報

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 山本俊六・大竹和生・中村洋光・山田真澄

- 13:15 A22-01 誤り確率を考慮した緊急地震速報からの制御判定条件の作成
 °浅原 裕 (先端力学シミュレーション研)・大角恒雄 (日本工営中央研)
- 13:30 A22-02 緊急地震速報における周波数マグニチュードの有効性
 °山本俊六・堀内茂木・中村洋光・呉 長江・入倉孝次郎 (防災科研)
- 13:45 A22-03 緊急地震速報のためのP波マグニチュードの提案
 °上田竹寛・倉橋 奨・正木和明 (愛知工大)・入倉孝次郎 (愛知工大地域防災セ)
- 14:00 A22-04 緊急地震速報のための震度予測の高度化
 °正木和明・倉橋 奨・上田竹寛 (愛知工大)・入倉孝次郎 (愛知工科大学地域防災セ)
- 14:15 A22-05 歪計を利用した即時マグニチュード推定システムの構築
 °笠原 稔・一柳昌義・山口照寛・高田真秀・高橋浩晃 (北大理)
- 14:30 A22-06 地震波到着順を用いた震央推定法の誤差評価方法
 °関口涉次 (防災科研)

- 14 : 45 A22-07 緊急地震速報に用いられるテリトリ法の改良
 °大竹和生 (気象研究所)・中村浩二・清本真司・渡邊幸弘・上垣内修・齋藤 誠 (気象庁地震火山部)・長谷部大輔 (内閣府)
- 15 : 00 休憩
- 15 : 10 A22-08 単独観測点による早期地震諸元推定の精度検証
 °是永将宏・芦谷公稔・岩田直泰・佐藤新二 (鉄道総研)・中村浩二・東田進也 (気象庁)
- 15 : 25 A22-09 P 波初動の振幅増加率の地域性
 °中村洋光・山本俊六・功刀 卓・青井 真・堀内茂木・藤原広行 (防災科研)
- 15 : 40 A22-10 3次元減衰構造を用いた日本列島の高精度震度予測について
 °呉 長江・中村洋光・堀内茂木・山本俊六 (防災科研)
- 15 : 55 A22-11 Early Warning Systems for Large Earthquakes : Classification of Near-source and Far-source Stations
 °山田真澄 (京大次世代)・Tom Heaton (カリフォルニア工科大)
- 16 : 10 A22-12 近地 P 波記録のバックプロジェクションによるアスペリティー分布の推定 : リアルタイム・イメージングに向けた検討
 °竹中博士 (九大理)・山本容維 (地盤研究財団)
- 16 : 25 A22-13 地震の早期警報と初期破壊過程 °山田卓司・井出 哲 (東大院理)
- 16 : 40 A22-14 地震波とノイズとの識別機能の開発
 °堀内茂木 (ホームサイズモメータ)・山本俊六 (防災科研)・加地正明 (エイソー)

10月25日(木) 13:15~16:55 B会場

沈み込み帯のダイナミクスと地震・火山活動モデルの高度化
 (講演時間 12分・質疑応答 3分 招待講演は講演時間が異なります)
 座長 岡田知己・小平秀一・中島淳一

- 13 : 15 B22-01 伊豆弧背弧の地殻構造から見た古島弧とその形成過程
 °小平秀一・佐藤 壮・高橋成実・山下幹也・金田義行 (海洋研究開発機構)
- 13 : 30 B22-02 伊豆—小笠原—マリアナ島弧に発達する背弧拡大による地殻改変
 °高橋成実・小平秀一・三浦誠一・山下幹也・海宝由佳・佐藤 壮・野 徹雄・瀧澤 薫・金田義行 (海洋研究開発機構)
- 13 : 45 B22-03 屈折法地震探査による伊豆・小笠原島弧火山フロント下の地殻—マントル遷移層の速度コントラストの分布
 °佐藤 壮・小平秀一・高橋成実・三浦誠一・金田義行 (海洋研究開発機構)
- 14 : 00 B22-04 高周波数 S 波エンベロープのピーク遅延時間解析から推定した北部伊豆小笠原におけるランダムな速度ゆらぎの空間分布
 °高橋 努・尾鼻浩一郎・神谷眞一郎・小平秀一・末次大輔・高橋成実・田村芳彦・阪口 秀 (海洋研究開発機構)
- 14 : 15 B22-05 S コーダ波エンベロープの形状からみた西南日本の地殻・最上部マントル不均質構造 (2)
 °浅野陽一・小原一成 (防災科研)
- 14 : 30 B22-06 マントル上昇流の微細構造と島弧マグマ活動 °中島淳一・長谷川 昭 (東北大理)
- 14 : 45 B22-07 宮城県北部歪集中帯の成因と地震活動 (1) 2003 年宮城県北部地震震源域および周辺域の深部構造
 °岡田知己・新居恭平・堀 修一郎・河野俊夫・中山貴史・平原聡・中島淳一・長谷川 昭 (東北大理)・Haijiang Zhang・Clifford Thurber (Univ. of Wisconsin・Madison)
- 15 : 00 休憩

- 15:10 B22-08 雲仙地溝帯の3次元地震波速度構造
 °雑賀 敦・松本 聡(九大)・馬越孝道(長崎大)・植平賢司・松島 健・清水 洋(九大)
- 15:25 B22-09* 前弧応力を用いたスラスト帯剪断応力精密決定とその意義 °瀬野徹三(東大地震研)
- 15:45 B22-10* 日本列島における後期新生界の変形集中域 °佐藤比呂志(東大地震研)
- 16:05 B22-11* 地震発生サイクルシミュレーション —プレート境界地震から内陸地震まで含む系へ—
 °平原和朗(京大理)・兵藤 守(JAMSTEC, ESC)・光井能麻・堀 高峰(JAMSTEC, IFREE)・
 加藤尚之(東大地震研)
- 16:25 B22-12 日本海東縁北部の地震空白域に分布する褶曲衝上断層帯の地質構造
 °石山達也(東北大)・荒井晃作(産総研地質情報)・須田茂幸(地球科学総合研)
- 16:40 B22-13 日本海拡大時期の東北日本弧と西南日本弧の右横ずれ変位 °高橋雅紀(産総研地質)

10月25日(木) 13:15~16:55 C会場

地震発生の物理, 岩石実験・地殻応力

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 山下輝夫・田中秀実・川方裕則・廣瀬丈洋

- 13:15 C22-01 異種多孔性媒質境界での準静的地震破壊—拡散率の違いの効果 °山下輝夫(東大地震研)
- 13:30 C22-02 無次元パラメータ S_u で理解する動的地震破壊過程 °鈴木岳人・山下輝夫(東大地震研)
- 13:45 C22-03 CMT データインバージョン法による日本列島周辺域の3次元地震発生応力場の推定
 °寺川寿子・松浦充宏(東大理, CREST/JST)
- 14:00 C22-04 統合逆化公式を用いた日本列島域の測地データインバージョン:北海道・東北地域のプレート間カップリング
 °橋本千尋(東大理, CREST/JST)・野田朱美(東大理)・鷲谷 威(名大環境)・松浦充宏(東大理, CREST/JST)
- 14:15 C22-05 砂山の斜面崩落に対する臨界状態と断層破壊に対する臨界状態の比較
 °吉岡直人(横浜市大)・阪口 秀(海洋研究開発機構)
- 14:30 C22-06 鉱物溶解による断層面の潤滑
 °田中秀実(東大)・陳 維民(台湾国立中央大)・陳 一銘・宋 艶芳(台湾国家同步輻射研究中心)・
 馬 國鳳(台湾国立中央大)
- 14:45 C22-07 断層岩の湿式粉碎実験に伴う pH 上昇~断層破砕帯でのガウジ化初期における化学過程~
 °齊藤友比古・田中秀実(東大理)
- 15:00 休憩
- 15:10 C22-08 せん断力を受ける固体の弾性波散乱減衰特性
 °阪口 秀(海洋研究開発機構)・吉岡直人(横浜市大)・高橋 努(海洋研究開発機構)
- 15:25 C22-09 速度・状態依存摩擦構成則におけるダイレクトエフェクトの大きさをなるべく直接的に測る方法
 °永田広平・中谷正生・吉田真吾(東大地震研)
- 15:40 C22-10 震源核形成・成長に伴う AE の波形変化をとらえる試み(3)—AE の破壊形態—
 °川方裕則(立命大)・高橋直樹(三井住友建設)・西澤 修(産総研)・山本覚仁・吉光奈奈(立命大)
- 15:55 C22-11 超高周波(<200 kHz) AE・微小地震観測と、弾性波透過試験による観測網評価 —南アフリカ半制
 御地震発生実験—
 °直井 誠・中谷正生・五十嵐俊博・新谷陽一郎・永田広平・桑野 修・吉田真吾・佐野 修・
 山田卓司(東大)・矢部康男(東北大)・小笠原宏・川方裕則・安武剛太・山本覚仁(立命大)・
 飯尾能久(京大)・S. Stanchits・G. Dresen (GFZ ボツダム)・J. Philipp (GMuG)・G. Morema・
 T. Ward (サイズモゲン)・T. Nortjie・R. Carstens・J. Pretorius (アングロ金)・
 G. van Aswegen・E. Pinder (ISSI)・A. Milev (CSIR)・
 南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同研究グループ

- 16:10 C22-12 地殻温度圧力条件における含水鉱物および含水岩石の電気伝導度
 °藤田清士(大大工)・桂 智男・松崎琢也(岡山地球)市来雅啓(東工大理)
- 16:25 C22-13 断層摩擦発熱による蛇紋岩の脱水反応に伴う断層の劇的な強度低下
 °廣瀬文洋(イタリア国立地球物理火山研)・
 Misha Bystricky (LMTG, Toulouse, University, France)
- 16:40 C22-14 稲田花崗岩の圧縮に伴うガス放出のメカニズムの圧縮速度依存性
 °小泉早苗・角森史昭・野津憲治(東大院理地殻化学)

10月25日(木) 13:15~16:55 D会場

地盤構造・地盤震動, 地震予知
 (講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 山中浩明・中村亮一・井元政二郎・森谷武男

- 13:15 D22-01 新潟地域の3次元速度構造一次モデルの構築
 °引間和人(東大地震研)・鈴木晴彦(応用地質)・三宅弘恵・古村孝志・額綱一起(東大地震研)
- 13:30 D22-02 地震波干渉法による東京湾西岸部の地震基盤構造の推定
 °吉本和生(横浜市大)・中原 恒(東北大)・木下繁夫(横浜市大)
- 13:45 D22-03 レシーバー関数とレイリー波位相速度の同時逆解析による関東平野南部の深部地盤のS波速度構造の推定
 °山中浩明・新才浩之(東工大総合理工)山田伸之(福岡教育大)
- 14:00 D22-04 関東平野における深部地盤モデルの表層Vsの地域性を考慮した地震動シミュレーション
 °山田伸之(福岡教育大)・山中浩明(東大院総合理工)
- 14:15 D22-05 長周期地震動シミュレーションと実地震記録に基づく大阪堆積盆地構造モデルの考察
 °岩城麻子・岩田知孝(京大防災研)
- 14:30 D22-06 Superficial S-wave velocity structures determined by the MASW method in the Grenoble Basin
 °Seiji Tsuno・Cecile Cornou・Pierre-Yves Bard (LGIT・France)
- 14:45 D22-07 空間自己相関法の適用可能性に関する一般理論と2点アレイ微動探査への応用
 °多田 卓(東理大工)・長 郁夫(産総研)・篠崎祐三(東理大工)
- 15:00 D22-08 単点で推定するMの偏差の地域的偏りと揺れ易さ評価(第1次案)
 中村亮一(東電設計)・°湯沢 豊(東電設計)・工藤一嘉(日大, 東電設計)
- 15:15 休憩
- 15:25 D22-09 関東における中規模地震モデル(3)パラメータ相関の効果 °井元政二郎(防災科研)
- 15:40 D22-10 宮城県沖地震の予知を目指した地下水変動観測
 °南須原美恵・大槻憲四郎(東北大理)・山内常生(名大環境防災研)
- 15:55 D22-11 最近の地下水温上昇と新潟・神戸歪集中帯(近畿地方)の地殻活動異常
 °佃 為成(東大地震研)
- 16:10 D22-12 地中励起電磁波パルスの波源の深さ —2地点観測による波源位置特定と地震データから—
 °筒井 稔・山田誉人・井上純一(京産大工)・藤井直之(静大客員)・古本宗充・山田 守・
 奥田 隆(名大院環境)・長尾年恭(東海大海洋研)
- 16:25 D22-13 VHF 散乱波による直前予報事例と散乱波の方位測定を試み—2
 °森谷武男(北大理)・山本 勲(岡山理大工)・茂木 透・高田真秀・渡辺朋典(北大理)・
 大野 望(千葉大理)
- 16:40 D22-14 地震前兆電磁界の発現過程 °高橋耕三(元通信総研)

10月26日(金) 9:00~12:15 A会場

地震予知に向けた総合的応力集中モデルの構築と検証

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 田所敬一・芝崎文一郎・長 郁夫

- 9:00 趣旨説明
- 9:05 A31-01* プレート境界における応力集中過程 °松澤 暢(東北大院理)
- 9:20 A31-02 東海地震のアスペリティの推定 °松村正三(防災科研)・里村幹夫(静大)
- 9:35 A31-03* 海域における地殻変動モニタリングに向けて: 広域多点観測とリアルタイム観測
°田所敬一・杉本慎吾・渡部 豪・木元章典・武藤大介(名大)・久野雅博(三重県科技振セ)・佐柳敬造(東海大)
- 9:50 A31-04 海底地殻変動観測の現状と今後の展望
°佐藤まりこ・齋藤宏彰・松本良浩(海洋情報部)・望月将志・浅田 昭(東大生産研)
- 10:05 A31-05 海中ロボットを使った海底地殻変動観測
°望月将志・浅田 昭・浦 環(東大生産研)・藤田雅之(海洋情報部)・Oscar L. Colombo(NASA)・永橋賢司(三井造船)・田中照喜・鄭 紅(SEA)・松本良浩・佐藤まりこ(海洋情報部)
- 10:20 A31-06* 陸域の断層の応力集中モデル °飯尾能久(京大・防災研)
- 10:35 休憩
- 10:45 A31-07 不均質レオロジー構造を考慮した島弧地殻における応力集中と断層形成過程のモデル化
°芝崎文一郎(建築研)
- 11:00 A31-08 ひずみ集中域と大地震発生域との相関: どちらが原因か?
°島崎邦彦(東大地震研)・ワヒュートリヨソ(バンドン工科大学地球学鉱物工)
- 11:15 A31-09* 内陸地震域への歪・応力集中プロセス解明に向けた総合観測 — 跡津川断層域における総合集中観測の成果を踏まえて—
°岩崎貴哉(東大地震研)・内陸 Working Group
- 11:30 A31-10 歪集中帯における電磁気観測
°上嶋 誠(東大地震研)・吉村令慧(京大防災研)・歪集中帯地殻比抵抗研究グループ
- 11:45 A31-11 Analysis of Potential Trigger Mechanisms for England's 2007 Folkestone Earthquake
°Christian D. Klose(Columbia Univ.)
- 12:00 A31-12 正のクーロン破壊応力変化が大地震の発生を遅らせる可能性
°長 郁夫・桑原保人(産総研)

10月26日(金) 9:00~12:15 B会場

強震動・地震災害

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 顔織一起・香川敬生・森川信之

- 9:00 B31-01 コーダ波解析から推定された強震に伴う地盤浅部速度構造の時間変化
°澤崎 郁・佐藤春夫・中原 恒・西村太志(東北大理)
- 9:15 B31-02 振幅と位相を考慮した経験的サイト特性の評価
°倉橋 奨・正木和明(愛知工大)・入倉孝次郎(愛知工大地域防災セ)
- 9:30 B31-03 三次元減衰構造・震源スペクトル同時インバージョンで得られる短周期励起の地域性(北海道地域)
°中村亮一(東電設計)・植竹富一(東京電力)

- 9:45 B31-04 島弧のゆれ方：2001年芸予地震による強震動と島弧の構造 ° 笥 楽磨 (神戸大理)
- 10:00 B31-05 強震動記録に基づく計測震度の距離減衰式
° 森川信之 (防災科研)・神野達夫 (広島大)・成田 章 (MSS)・藤原広行 (防災科研)・
福島美光 (清水建設)
- 10:15 B31-06 確率論的地震動予測地図の検証 —K-NET 過去10年間の記録との比較—
° 藤原広行・森川信之 (防災科研)・石川 裕・奥村俊彦・宮腰淳一 (清水建設)
- 10:30 休憩
- 10:45 B31-07 2003年十勝沖地震の際の石狩湾新港における長周期地震動 —堆積盆地構造の影響による表面波の
増幅的干渉—
° 吉田邦一 (産総研)
- 11:00 B31-08 東京の地震動の応答継続時間スペクトルに関する一検討 ° 石井 透 (清水建設)
- 11:15 B31-09 首都圏における強震動評価 (3)：東南海地震
° 三宅弘恵・額綱一起・古村孝志 (東大地震研)・鈴木晴彦・引間和人 (応用地質)
- 11:30 B31-10 大阪平野における既往海溝型地震による地震動
° 香川敬生・大西良広 (地域地盤環境研)・鎌田泰子 (神戸大工)・澤田純男 (京大防災研)
- 11:45 B31-11 大阪平野における長周期地震動の卓越周期と高層建築物の固有周期の比較
° 宮腰 研・大西良広 (地盤研究財団)・堀家正則 (大工大)
- 12:00 B31-12 震源近傍の「長周期地震動」 ° 額綱一起・三宅弘恵 (東大地震研)

10月26日(金) 9:00~12:15 C会場

地殻構造

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 飯高 隆・松本 聡・西村太志

- 9:00 C31-01 島弧のモホ面と最上部マントル構造 ° 飯高 隆・五十嵐俊博・岩崎貴哉 (東大地震研)
- 9:15 C31-02 比抵抗分布から推定された東北日本弧の地殻流体分布 ° 三品正明 (東北大院理)
- 9:30 C31-03 近畿地方中央部の地殻不均質構造と地震活動 ° 西上欽也 (京大防災研)
- 9:45 C31-04 2005年福岡県西方沖地震震源域内部のQ構造 (2)
° 松本 聡・植平賢司 (九大地震火山セ)・渡邊篤志 (東大地震研)・後藤和彦 (鹿児島大理)・
飯尾能久 (京大防災研)・平田 直 (東大地震研)・岡田知己 (東北大理)・高橋浩晃 (北大理)・
清水 洋 (九大地震火山セ)・篠原雅尚・金澤敏彦 (東大地震研)
- 10:00 C31-05 Determining 3D Attenuation Structure beneath Kyushu, Japan exerting Waveform —Spectra
of Microearthquakes (2)
° リツキタ・パリツスタ・松本 聡・植平賢司・松島 健・清水 洋 (九大地震火山セ)
- 10:15 C31-06 減衰トモグラフィ法に関する検討 —解析手法の改善について
° ペトゥヒン アナトリ (地盤研究財団)
- 10:30 休憩
- 10:45 C31-07 遠地Pコーダ波3成分エンベロープの特徴とその地域性 ° 西村太志 (東北大理地物)
- 11:00 C31-08 十勝沖と宮城県沖で発生する地震で見られるsP波の走時と地殻構造の関係
° 真保 敬・佐藤魂夫 (弘前大理工)
- 11:15 C31-09 襟裳海山および第1鹿島海山の沈み込みに関連した地震波速度構造
° 西澤あずさ・渡邊奈保子・及川光弘・金田謙太郎 (海上保安庁海洋情報部)・
笠原順三 (日本大陸棚調査)

- 11:30 C31-10 つくば南観測井周辺の先第三系基盤の微細構造トレンドについて
 °横倉隆伸・山口和雄・駒澤正夫（産総研）・笠原敬司（東大地震研）・木村尚紀・武田哲也（防災科技研）
- 11:45 C31-11 制御震源と海底地震計・陸上臨時観測点を用いた茨城県沖沈み込み帯の地震波構造探査実験
 °大久保忠博・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗・中東和夫・桑野亜佐子・酒井慎一・金沢敏彦・萩原弘子・蔵下英司・岩崎貴哉（東大地震研）・高波鐵夫・村井芳夫・町田裕弥（北大理）・山本揚二郎・東 龍介・鈴木健介・日野亮太（東北大理）・佐藤利典・樋口春隆（千葉大理）・植平賢司（九大理）・八木健夫・橋本信一・羽田敏夫・平田安廣・渡辺 茂・坂 守・芹沢正人・田上貴代子・三浦禮子（東大地震研）
- 12:00 C31-12 伊豆衝突帯東部における地殻構造 — 大大特関東山地 2003 測線の屈折法— 広角反射法解析—
 °新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志（東大地震研）・阿部 進（地科研）・平田 直（東大地震研）

10月26日（金）9:00~12:15 D会場

テクトニクス, 地震活動
 （講演時間 12 分・質疑応答 3 分）
 座長 金尾政紀・平田賢治・勝間田明男

- 9:00 D31-01 能動的及び受動的震源による東南極リュツォ・ホルム岩体の深部構造とテクトニクス
 °金尾政紀（極地研）・藤原 明（ジオシス）・宮町 宏樹（鹿大）・白井佑介（情報システム研究機構）・井上智史・山田 朗（愛媛大）
- 9:15 D31-02 リソスフェア冷却モデルに関する考察 °江口孝雄（防衛大）
- 9:30 D31-03 沈み込み帯における内部変形運動の有限要素シミュレーション
 °鹿倉洋介（東大理）・中島研吾（東大理, CREST/JST）・深畑幸俊（東大理）・松浦充宏（東大理, CREST/JST）
- 9:45 D31-04 スマトラ北西沖海域調査の国際的な取り組みと3つの断層モデル仮説
 °平田賢治（気象研）・徐 垣・町山栄章・山口はるか・富士原敏也・金松敏也・荒木英一郎・尾鼻浩一郎・末廣 潔（海洋研究開発機構）・荒井晃作（産総研）・瀬野徹三（東大地震研）
- 10:00 D31-05 2004年スマトラ沖地震（Mw 9.3）とユーラシアプレート南東部収束域の長期広域地震活動
 °野口伸一（防災科研）
- 10:15 D31-06 2007年ソロモン諸島地震 °朴 舜千（京大次世代）・モリ ジェームズ・ジロウ（京大防災研）
- 10:30 休憩
- 10:45 D31-07 西南日本における超巨大地震とそれに伴う長期地震活動変化の可能性 °古本宗充（名大院環境）
- 11:00 D31-08 千島海溝南部沿いで発生するプレート間（巨）大地震の前震活動 °原田智也・石橋克彦（神戸大都市安全）
- 11:15 D31-09 Hi-net アレイでの長周期地震波の震源位置推定（2） °松林弘智・松本拓己（防災科研）
- 11:30 D31-10 深部低周波微動の輻射エネルギーの時空間分布 °前田拓人・小原一成（防災科研）
- 11:45 D31-11 地震活動異常と地殻変動異常と非地震性すべりについて °尾形良彦（統数研総合研究大学院大）
- 12:00 D31-12 三次元速度構造を用いた Double-Difference 震源決定による新潟県中越沖地震の余震分布 °勝間田明男（気象研）

10月26日(金) 14:50~18:00 A会場

地震予知に向けた総合的応力集中モデルの構築と検証

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 矢部康男・大槻憲四郎・中谷正生

- 14:50 A32-01* 地震発生の素過程研究と地震予知の展望
°矢部康男(東北大院理)・中谷正生(東大地震研)・吉岡直人(横浜市大院理)・堤 昭人(京大院理)・
増田幸治(産総研)・阪口 秀(海洋研究開発機構)
- 15:05 A32-02 Monitoring of difference in behavior in stressed areas at flooded, deep gold mines in South Africa
°小笠原宏・川方裕則・安武剛太・山本覚仁・吉光奈奈(立命大)・山内常生・田所敬一(名大)・
V. Visser・R. Weyers・A. Rossouw・K. Bossman・K. Nesbet (OHMS)・G. van Aswegen (ISSI)・
A. Chicowicz (CGS)・大志万直人・飯尾能久(京大)・中谷正生・吉田真吾(東大)・
中尾 茂(鹿大)・南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験共同研究グループ
- 15:20 A32-03 Very high-frequency seismic observation of a stressed dyke contact in a South African deep gold mine.
°中谷正生・直井 誠・五十嵐俊博・三宅弘恵・井出 哲・加藤愛太郎・新谷陽一郎・永田広平・
桑野 修・吉田真吾・佐野 修・山田卓司(東大)・矢部康男(東北大)・小笠原宏・川方裕則・
安武剛太・山本覚仁(立命大)・雷 興林・佐藤隆司(産総研)・飯尾能久(京大)・S. Stanchits・
G. Dresen (GFZ ボツダム)・J. Philipp (GMuG)・G. Morema・T. Ward (サイズモゲン)・
T. Nortjie・R. Carstens・J. Pretorius (アングロ金)・G. van Aswegen・E. Pinder (ISSI)・
A. Milev (CSIR)・南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同研究グループ
- 15:35 A32-04 断層の剪断破壊強度：断層の走向と変位場 (I) °山本清彦(なし)・矢部康男(東北大院理)
- 15:50 A32-05 地震と階層的に自己相似的な断層帯の構造との関係 °大槻憲四郎(東北大理)
- 16:05 A32-06 掘削直後の孔径変化を利用した中国宁河一則木河断層系周辺の浅部応力
°木口 努・桑原保人・雷 興林(産総研)・馬 勝利(中国地震局)・聞 学沢(四川省地震局)・
陳 順雲(中国地震局)
- 16:20 休憩
- 16:30 A32-07 断層近傍における歪の観測 —特徴的な変動と湧水による変動—
°石井 紘・浅井康広・青木治三(東濃地震科研)
- 16:45 A32-08* 地殻活動予測システムの開発へ向けての展望
°鷲谷威(名大環境)・堀 高峰(IFREE, JAMSTEC)・宮崎真一(東大震研)・
大見士朗(京大防災研)・橋本千尋(東大理)・加藤尚之(東大地震研)
- 17:00 A32-09 日本列島域の地殻応力状態モニタリングに向けた観測・解析・シミュレーション融合システム
°松浦充宏・野田朱美・寺川寿子・橋本千尋(東大理)
- 17:15 A32-10* 大地震の発生シナリオと先行現象—現状と展望 °中谷正生(東大地震研)
- 17:30 A32-11 M6 クラスのプレート境界地震に先行する相似地震の静穏化現象
木村尚紀・行竹洋平・武田哲也・°小原一成(防災科研)
- 17:45 総合討論

10月26日(金) 14:50~17:45 B会場

強震動・地震災害

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 佐藤智美・増田 徹・太田 裕

- 14:50 B32-01 1930年代に発生したM7クラスの宮城県沖の地震の震度インバージョンの見直し
°神田克久・武村雅之(小堀鐸二研) 河野俊夫・海野徳仁・長谷川 昭(東北大理)
- 15:05 B32-02 1924年丹沢地震(M7.3)の震源断層モデル °早川 崇(清水建設)・片岡俊一(弘前大)
- 15:20 B32-03 最近の内陸地震の強震動観測記録に基づく強震動予測レシビの検証
°入倉孝次郎(愛知工大地域防災セ)・宮腰 研(地域地盤環境研)・倉橋 奨(愛知工大)
- 15:35 B32-04 地表地震断層と震源断層における長さと変位量の経験的關係および強震動予測のための震源モデル(その2)
°入江紀嘉・壇 一男・松本良一郎(大崎総研)・三明雅幸(日本原電)・入倉孝次郎(愛知工大)
- 15:50 B32-05 3成分広帯域統計的グリーン関数の生成方法に関する研究 °佐藤智美(清水建設技研)
- 16:05 B32-06 強震動予測における乱数時系列 °増田 徹(応用地質)・横田 崇(気象庁)
- 16:20 休憩
- 16:30 B32-07 大地震近傍における強震動 °大内 徹(神戸大都市安全)
- 16:45 B32-08 A general boundary condition in 3D hybrid modeling based on Alterman and Karal wavefield injection
°Ivo Oprsal (DPRI, Kyoto Univ.)・Ctirad Matyska (Charles University, Prague)・Kojiro Irikura (Aichi Institute of Technology)
- 17:00 B32-09 入力地震波動場に基づく、3次元建物-地盤相互作用解析法(2) °飯田昌弘(東大地震研)
- 17:15 B32-10 震災関連疾患のシミュレーションモデル(1) 一定式化と試算 °太田 裕(東濃地震科研)・和藤幸弘(金沢医大)
- 17:30 B32-11 防災数理モデルの変容と進化 ー免疫システムの応用ー °河村 廣(神戸大名誉教授)

10月26日(金) 14:50~17:45 C会場

地殻構造, 津波

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 金田謙太郎・齊藤竜彦・西村裕一

- 14:50 C32-01 西太平洋北西海域で観測された超高速度のPnとその方位異方性
°及川光弘・西澤あずさ・金田謙太郎(海上保安庁海洋情報部)・小平秀一(海洋研究開発機構)
- 15:05 C32-02 マーカス・ウェイク海山群の速度構造:大洋底から海山群へ
°金田謙太郎(海上保安庁海洋情報部)・小平秀一・高橋成実(海洋研究開発機構)・西澤あずさ(海上保安庁海洋情報部)
- 15:20 C32-03 2006年11月, 2007年1月千島列島地震津波の規模と伝播の様相 °羽鳥徳太郎
- 15:35 C32-04 遠地震波の震源過程モデルに基づく2006年, 2007年千島地震の沖合津波計算と, 地震波, 津波データの同時インバージョン
°馬場俊孝(IFREE, JAMSTEC)・P. Cummins (Geoscience Australia)・H. Thio (URS Corp.)・対馬弘晃(東北大)

- 15:50 C32-05 2007年千島列島地震による津波発生・伝播: Navier-Stokes 方程式と線形長波方程式による計算結果の比較
 °齊藤竜彦・古村孝志 (東大地震研, CREST)
- 16:05 C32-06 地震—津波連成シミュレーションによる津波の高精度評価
 °古村孝志・齊藤竜彦 (東大地震研, CREST)
- 16:20 休憩
- 16:30 C32-07 海洋底で観測された2006年11月と2007年1月の千島列島地震の津波による電磁場変動
 °浜野洋三・後藤忠徳 (JAMSTEC)・藤 浩明 (富山大学)・長尾大道 (JAMSTEC)
- 16:45 C32-08 2007年ソロモン諸島地震津波の現地調査
 °西村裕一・谷岡勇市郎・中村有吾 (北大地震火山セ)・都司嘉宣 (東大地震研)・
 行谷佑一 (産総研)・村田昌彦 (アジア防災セ)
- 17:00 C32-09 2007年4月1日ソロモン諸島巨大地震による地殻変動とテクトニクス的意義
 °谷岡勇市郎 (北大)・行谷佑一 (産総研)・西村裕一 (北大)・都司嘉宣 (東大震研)・
 中村有吾 (北大)・村田昌彦 (アジア防災セ)
- 17:15 C32-10 2007年に日本海東縁部で発生した3つの(能登半島沖・中越沖・サハリン沖)地震津波
 °行谷佑一・佐竹健治 (産総研)
- 17:30 C32-11 作図によって求めた2007年中越沖地震津波の波源域
 °阿部邦昭 (日歯大新潟短大)・谷岡勇市郎 (北大理)・佐竹健治・行谷佑一 (産総研)

10月26日(金) 14:50~17:45 D会場

地震活動, 地震一般
 (講演時間12分・質疑応答3分)
 座長 行竹洋平・岩田貴樹・岩瀬良一

- 14:50 D32-01 最大振幅情報を援用した微小地震発震機構決定の可能性
 °片尾 浩 (京大防災研)
- 15:05 D32-02 跡津川断層東端における稠密微小地震臨時観測
 °和田博夫・伊藤 潔・大見士朗・平野憲雄
- 15:20 D32-03 御嶽山直下の地殻下部・マントルで発生する地震活動について
 °山崎文人 (名大院環境)
- 15:35 D32-04 波形相関を用いた内陸地震域の詳細な断層構造の推定 —2007年4月三重県北部の地震活動—
 °行竹洋平・武田哲也・小原一成 (防災科研)
- 15:50 D32-05 内陸大地震発生の時空間的相関について
 °鷲谷 威 (名大環境)
- 16:05 D32-06 震源の深さ, 地震発生層の厚さとb値の相関性について
 °石辺岳男・島崎邦彦 (東大地震研)
- 16:20 休憩
- 16:30 D32-07 摩擦構成則に基づく余震発生率の時空間分布に関するモデリング
 °岩田貴樹 (統数研)・遠田晋次 (産総研)・尾形良彦 (統数研)
- 16:45 D32-08 静的および動的応力変化による地震活動度変化の評価
 °前田憲二 (気象研)
- 17:00 D32-09 Differences between spontaneous and triggered earthquakes
 °庄 建倉 (統数研)・Marth K. Savage (Victoria University of Wellington)・
 尾形良彦 (統数研)・David Vere-Jones (Victoria University of Wellington)・
 Annemarie Christophersen (Swiss Seismological Service)・
 David D. Jackson (UCLA)
- 17:15 D32-10 2007年台風4号の通過に伴う海底水圧変動と脈動
 °岩瀬良一 (JAMSTEC)・菊池年晃 (防衛大)・水谷孝一 (筑波大院)
- 17:30 D32-11 四国東部の地震と中央構造線
 °許斐直・松村一男・近藤和男 (京大防災研)

10月24日(水) 17:00~18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P1-001~P1-106)

地震の理論・解析法

- P1-001 時間反転波形記録の逆伝搬による散乱体イメージング: 合成波形による周波数と空間分解能の関係
°蓬田 清 (北大理)
- P1-002 2次元弾性体におけるP波とS波のエネルギー平衡について
°中原 恒 (東北大)・吉本和生 (横浜市大)
- P1-003 Hi-net 鳳来におけるアクロス連続データに見られる波群の時間変化
°古川俊之・渡辺俊樹・羽佐田葉子・山岡耕春 (名大環境)・生田領野 (東大地震研)
- P1-004 脈動記録を用いた1次元p波速度構造の推定
°西田 究・川勝 均 (東大地震研)・小原一成 (防災科研)

地震計測・処理システム

- P1-005 非ガウス型トレンドモデルによる体積歪地震記録の高精度抽出
°高波鐵夫 (北大地震火山セ)・北川源四郎 (統数研)
- P1-006 CMG40T 地震計の傾斜応答に関する簡易試験
°青山 裕 (北大地震火山セ)
- P1-007 防災科研—台湾中央研究院による広帯域地震波形データ交換システムの構築
°針生義勝・小原一成・松林弘智・松本拓己 (防災科研)
- P1-008 首都圏地震観測網 (MeSO-net) 観測点情報総合管理システムの開発
°中川茂樹・酒井慎一・鶴岡 弘・森田裕一・笠原敬司・平田 直 (東大地震研)
- P1-009 首都圏地震観測網 (MeSO-net) における学校向けコンテンツ
°鶴岡 弘・鷹野 澄・酒井慎一・笠原敬司・平田 直 (東大地震研)
- P1-010 浅部ボアホール地震動観測における広帯域・高ダイナミックレンジMEMS加速度計の評価
°郷 隆之・小田 尚・小池太郎・井川 猛 (ジオシス)・松波孝治 (京大防災研)・黒田 徹 (地球科学総合研)
- P1-011 K-NET95 強震計を用いた建物地震観測
°羽田浩二・山田雅行 (ニュージェック)・堀家正則 (大阪工大)・藤原広行・功刀 卓 (防災科研)
- P1-012 6年目を迎える弾性波アクロス連続送信
°國友孝洋・長谷川健・熊澤峰夫 (原子力機構)
- 地球及び惑星の深部構造と物性
- P1-013 Surface-wave phase speed maps beneath the Indonesia archipelago
°Syafriani Binti Ali Umar・K. Yoshizawa・K. Yomogida (Grad. Sch. Science, Hokkaido Univ.)
- P1-014 広帯域海底地震計を用いたフィリピン海の上層マントル3次元S波構造 —伊豆小笠原マリアナ弧に沿った3つの低速度異常
一瀬建日 (IFREE)・吉澤和範 (北大理)・末次大輔・田村芳彦 (IFREE)・塩原 肇 (ERI)・杉岡裕子・伊藤亜妃 (IFREE)・川勝 均・志藤あずさ (ERI)・アダム クラウディア (IFREE)・金沢敏彦 (ERI)・深尾良夫 (IFREE)
- P1-015 Upper mantle anisotropy beneath northeast China from shear wave splitting
°白 玲・飯高 隆・川勝 均 (東大地震研)
- P1-016 PcP, PKiKP 波を用いた日本列島周辺下におけるCMBとICBの構造推定
°柴田直秀・山田 朗 (愛媛大)
- P1-017 ハワイ島直下D層の地震波速度異常
°藤亜希子・深尾良夫 (IFREE)
- P1-018 IMS アレーを用いたD'層反射波の検出と最下部マントルにおけるdouble crossingの分布
°小早川麻衣・山田 朗 (愛媛大)
- P1-019 波形インバージョンによる西太平洋下D'層内の深さ方向地震波の速度構造推定
°小西健介 (東大理)・河合研志 (東工大理工)・富士延章・ゲラー ロバート (東大理)

- P1-020 マントル遷移層に沈みこむスラブと海洋地殻の挙動の数値シミュレーション
 °橋本達樹 (九大理府)・吉岡祥一 (九大理院)・中久喜伴益 (広大理)
- P1-021 南極宗谷沿岸のマントル不連続面の深さの見積もり
 °井上智史・山田 朗 (愛媛大)・趙 大鵬 (東北大)・金尾政紀 (極地研)・白井佑介 (融合センター)
- P1-022 ScS レシーバ関数を用いた上部マントル地震波速度不連続面の検出 °利根川貴志・川勝 均 (東大地震研)
- P1-023 ScSp 変換波による太平洋スラブ形状の推定 °関根秀太郎・小原一成 (防災科研)
- P1-024 高解像度全マントル Vp/Vs トモグラフィー °大木聖子・Guy Masters (UCSD)
- P1-025 Post-spinel transition in Mg₂SiO₄-H₂O system determined by high p-T in situ X-ray diffractometry
 °Sujoy Ghosh・Akio Suzuki・Eiji Ohtani・Konstantin Litasov・Hidenori Terasaki・Tatsuya Sakamaki・
 Shin Ozawa・Yuki Shibasaki (Tohoku University)・Kenichi Funakoshi (JSRRI, Japan)
- 2007 年能登半島地震：地震発生場から被害まで
- P1-026 2007 年能登半島地震震源域における海底地形及び変動地形について
 °泉 紀明・伊藤弘志・長野勝行・小野寺健英・西澤あずさ (海上保安庁)
- P1-027 能登半島西方海域における海底活断層の分布と活動度—2007 年能登半島地震に関連して—
 °井上卓彦・村上文敏・岡村行信 (産総研)
- P1-028 過去にも生じていた能登半島沖地震 —2007 年震源断層の南西延長が 1892 年に活動した?—
 °宍倉正展 (産総研活断層セ)・越後智雄 (地盤研究財団)・行谷佑一 (産総研活断層セ) 村上文敏・
 井上卓彦 (産総研地質情報)・岡村行信 (産総研活断層セ)
- P1-029 2007 年能登半島地震に伴い変位した断層露頭について °佐々木俊法・上田圭一・井上大榮 (電中研)
- P1-030 海底地震観測による 2007 年能登半島地震の余震分布
 °山田知朗・望月公廣・篠原雅尚・金沢敏彦・桑野亜佐子・中東和夫 (東大地震研)・日野亮太 (東北大理)・
 植平賢司 (九大理)・八木健夫・武田直人・橋本信一 (東大地震研)
- P1-031 クロスオーバーコンボリューション法によって再決定された 2007 年能登半島地震の余震分布
 °武田哲也・浅野陽一・小原一成 (2007 年能登半島地震合同余震観測グループ)
- P1-032 稠密 GPS 連続観測による 2007 年能登半島地震の余効変動
 °橋本 学 (京大防災研)・高橋浩晃・笠原 稔・本多亮・一柳昌義・山口照寛・前田宜浩 (北大)・道家涼介・
 柳井啓広・竹内 章 (富山大)・尾上謙介・細 善信・福島 洋・大谷文夫・中村佳重郎 (京大防災研)・
 平松良浩 (金沢大)
- P1-033 2007 年能登半島地震による応力変化に伴う地磁気変化
 °山崎健一・上嶋 誠 (東大地震研)・吉村令慧 (京大防災研)
- P1-034 能登半島地震における地下水変化
 °板場智史・小泉尚嗣・松本則夫・高橋 誠・佐藤 努・大谷 竜・北川有一・桑原保人・
 佐藤隆司 (産総研)・小澤邦雄 (静岡県防災局)
- P1-035 跡津川断層破碎帯深度 173 m 採水地下水中の遊離ガスの能登半島地震の時期のガス濃度比上昇
 °齊藤友比古・田中秀実・廣川智隆・角森史昭 (東大)・水落幸広 (住コン)・島田耕史 (JAEA)
- P1-036 平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震の津波解析 °行谷佑一・佐竹健治 (産総研)
- P1-037 強震波形インバージョンによる 2007 年能登半島地震の震源過程
 °初山 将・引間和人・額縁一起 (東大地震研)
- P1-038 2007 年能登半島地震の震源過程 (2) 測地データを加味した場合 °堀川晴央 (産総研活断層セ)
- P1-039 輪島市門前町道下における反射法地盤構造調査
 °松波孝治・飛田哲男 (京大防災研)・中村正夫 (元東大地震研)・井川 猛・郷 隆之・小池太郎・小田 尚・
 澤田壮一郎 (ジオシス)・駒田希充・小林里紗 (千葉大)
- P1-040 K-NET と KiK-net 強震記録に基づく 2007 年能登半島地震の震源・伝播・地盤増幅特性
 °加藤研一・池浦友則 (鹿島建設)
- P1-041 輪島、穴水、門前地区における 2007 年能登半島地震の余震観測および強震動推定
 °吉見雅行・吉田邦一 (産総研)

- P1-042 2007 年能登半島地震時の異なる震源モデリングによる震源近傍の強震動評価
 °渡辺哲史・永野正行（小堀研）
- P1-043 2007 年能登半島地震時におけるやや長周期地震動のシミュレーション解析と地盤モデルの影響
 °永野正行・渡辺哲史（小堀研）
- P1-044 2007 年能登半島地震の InSAR 解析結果による変位置と地形的特徴の関係
 °齊藤隆志・福島 洋・松波孝治（京大防災研）
- P1-045 2007 年能登半島地震における、墓石・燈籠の転倒・並進および回転
 °柏木健司・道家涼介・大藤 茂（富山大院理工）・加藤清次（ダイチ）
- P1-046 2007 年能登半島地震における灯籠の破損事例
 °加藤清次（ダイチ）・柏木健司・道家涼介・大藤 茂（富山大理）・野村彩香（ダイチ）
- 2007 年新潟県中越沖地震
- P1-047 2007 年新潟県中越沖地震の地質学的背景
 °佐藤比呂志・加藤直子（東大地震研）
- P1-048 2007 年新潟県中越沖地震発生の背景：テクトニクス・空白域・地震活動変化・トリガリング
 °遠田晋次（産総研活断層セ）
- P1-049 2007 年中越沖地震震源域周辺の活断層に関する諸問題
 °鈴木康弘（名大）・渡辺満久（東洋大）・中田 高（広島工大）
- P1-050 2007 年新潟県中越沖地震震源域の海底地質構造と浅部速度構造
 °阿部信太郎（電中研）
- P1-051 緊急研究：H19 年新潟県中越沖地震に関する緊急調査研究 ―海域構造調査―
 °金田義行・尾鼻浩一郎・野 徹雄・佐藤 壮・三浦誠一・高橋成実・小平秀一（海洋研究開発機構）・
 岩崎貴哉・金澤敏彦・篠原雅尚・佐藤比呂志（東大地震研）
- P1-052 平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震と周辺地域の広域応力場との関係
 °大坪 誠（産総研）
- P1-053 2007 年新潟県中越沖地震の震源域周辺における地震活動と応力場
 °今西和俊・桑原保人（産総研）
- P1-054 柏崎―小出間の変動地形・地質構造と 2004 年中越地震・2007 年中越沖地震の地表変状の関連
 °金 幸隆・岩崎貴哉（東大地震研）
- P1-055 2007 年新潟県中越沖地震域より琵琶湖までの新潟―神戸構造帯で発生した主な地震の月の位置
 °末 芳樹
 °河内一男
- P1-056 2007 年新潟県中越沖地震と日本海東縁の地震テクトニクス
 °河内一男
- P1-057 2007 年新潟県中越沖地震震源域における海底地形及び変動地形について
 °泉 紀明・伊藤弘志・長野勝行・小野寺健英・及川光弘・西澤あずさ（海上保安庁）
- P1-058 海底地震計を用いた 2007 年新潟県中越沖地震の余震観測
 °篠原雅尚・金沢敏彦・山田知朗・望月公廣・中東和夫・桑野亜佐子・橋本信一・八木健夫（東大地震研）・
 村井芳夫・町田裕弥・三浦亮・雨宮晋一郎・高波鐵夫（北大理）・日野亮太・伊藤喜宏（東北大理）・
 植平賢司・内田和也・田原道崇（九大理）・尾鼻浩一郎・小平秀一・金田義行（海洋研究開発機構）・
 山崎 明・岩切一宏（気象研）
- P1-059 地震波干渉法の応用による地殻構造モニタリングの試み（2）～新潟県中越沖地震前後の変化～
 °大見士朗（京大防災研）・平原和朗（京大理）
- P1-060 2007 年中越沖地震合同余震観測と余震分布
 °酒井慎一・加藤愛太郎・蔵下英司・五十嵐俊博・飯高 隆・岩崎貴哉・平田 直・金沢敏彦（東大地震研）・
 2007 年中越沖地震合同余震観測グループ
- P1-061 2007 年中越沖地震震源域から 2004 年中越地震震源域にわたる地殻内不均質構造
 °加藤愛太郎・酒井慎一・蔵下英司・五十嵐俊博・飯高 隆・岩崎貴哉・平田 直・金沢敏彦（東大地震研）・
 2007 年中越沖地震合同余震観測グループ
- P1-062 2007 年新潟県中越沖地震の震源周辺の速度構造および 3 次元速度構造を用いて決定した余震分布
 °松原 誠・小原一成（防災科研）
- P1-063 波形相関を用いた 2007 年新潟県中越沖地震の余震分布の推定
 °行竹洋平・武田哲也・小原一成（防災科研）

- P1-064 2007 年中越沖地震の周辺部の地震活動と地殻変動について °尾形良彦 (統数研総研大)
- P1-065 弥彦観測所における中越沖地震前の歪・傾斜変化
°中尾 茂 (鹿大理)・平田安廣・渡辺 茂・小林 勝・佐野 修・金沢敏彦 (東大地震研)
- P1-066 2007 年新潟県中越沖地震に伴う海岸部の地殻上下変動 (速報) °丸山 正・粟田泰夫 (産総研活断層セ)
- P1-067 稠密 GPS 連続観測に基づく 2007 年新潟県中越沖地震の余効変動
°太田雄策・三浦 哲・立花憲司・飯沼卓史 (東北大院理)・松島 健 (九大院理)・高橋浩晃 (北大院理)・
宮崎真一 (東大地震研)・鷲谷 威・伊藤武男 (名大院環境)・道家涼介・竹内 章 (富山大理)・
宮尾佳世 (東北大院理)・平尾暁彦 (九大院理)・前田宜浩・山口照寛・高田真秀 (北大院理)・
岩國真紀子・落 唯史 (東大地震研)・イルワン メイラノ (名大院環境)
- P1-068 PALSAR の干渉解析から得られた 2007 年新潟県中越沖地震に伴う地殻変動 °小澤 拓 (防災科研)
- P1-069 「だいち」PALSAR データの干渉解析で明らかになった新潟県中越沖地震に伴う地表面変動
°矢来博司・飛田幹男・宇根 寛・佐藤 浩・小荒井衛・雨貝知美・藤原みどり (国土地理院)
- P1-070 神岡鉱山で観測された 2007 年新潟県中越沖地震に伴う間隙水圧変化 °加納靖之・柳谷 俊 (京大防災研)
- P1-071 新潟県中越沖地震における地下水・歪変化
°板場智史・松本則夫・小泉尚嗣・高橋 誠・佐藤 努・大谷 竜・北川有一・桑原保人・
佐藤隆司 (産総研)・小澤邦雄 (静岡県防災局)
- P1-072 2007 年新潟県中越沖地震の震源域周辺におけるヘリウム同位体比
°堀口桂香 (東北大院理)・佐野有司 (東大海洋研)・植木貞人・長谷川 昭 (東北大院理)・
高畑直人 (東大海洋研)・岡田知己・中島淳一 (東北大院理)
- P1-073 新潟県中越沖地震の際に観測された長野県飯綱町での震度 6 強について °泉谷恭男 (信州大工)
- P1-074 2007 年新潟県中越沖地震後の K-NET 柏崎 (NIG018) の様子
°青井 真・功刀 卓・中村洋光 (防災科研)・吉田 望 (東北学院大)・若松加寿江・藤原広行 (防災科研)・
白坂光行 (気象庁)
- P1-075 近地強震動記録による 2007 年新潟県中越沖地震の震源インバージョン
°青井 真 (防災科研)・関口春子 (産総研)・森川信之・功刀 卓 (防災科研)・白坂光行 (気象庁)
- P1-076 2007 年新潟県中越沖地震の震源モデルと広帯域強震動シミュレーション °三宅弘恵・額綱一起 (東大地震研)
- P1-077 2007 年新潟県中越沖地震における初期破壊・主破壊・アスベリティー：柏崎における大震動との関係
°山崎寛一 (九大理)・山本容維 (地盤研究財団)・竹中博士 (九大理)
- P1-078 2007 年新潟県中越沖地震 (Mj6.8) の震源のモデル化 °釜江克宏・川辺秀憲 (京大原子炉)
- P1-079 経験的グリーン関数法を用いた 2007 年新潟県中越沖地震の震源モデル
°倉橋 奨・正木和明 (愛知工大)・入倉孝次郎 (愛知工大地域防災セ)
- P1-080 2007 年新潟県中越沖地震の特性化震源モデルに基づいた強震動評価
°宮腰 研 (地盤研究財団)・倉橋 奨・入倉孝次郎 (愛知工大)
- P1-081 経験的グリーン関数を用いた波形インバージョンによる 2007 年新潟県中越沖地震の震源モデル
°野津 厚 (港空研)
- P1-082 強震記録から推定された 2007 年新潟県中越沖地震の震源過程 °芝 良昭 (電中研)
- P1-083 アイソクロン・バックプロジェクション法による 2007 年新潟県中越沖地震の震源過程
°ネルソン プリード (防災科研)
- P1-084 遠地実体波の解析による 2007 年新潟県中越沖地震の震源破壊過程
°中村武史・石原 靖 (JAMSTEC)・山中佳子 (名大)・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-085 遠地実体波と強震波形から推定される 2007 年新潟県中越沖地震の震源過程
°引間和人・額綱一起 (東大地震研)
- P1-086 2007 年新潟県中越沖地震の震源過程 °山中佳子 (名大環境)
- P1-087 中越沖地震震源破壊過程の自動的な推定 °呉 長江・中村洋光・堀内茂木・山本俊六 (防災科研)
- P1-088 2007 年新潟県中越沖地震の本震および余震のモーメントテンソル解析
°松本拓己・松林弘智・風神朋枝 (防災科研)

- P1-089 現地調査結果と測地データより推定される 2007 年中越沖地震の断層モデル
 °堀川晴央・遠田晋次・粟田泰夫・丸山 正 (産総研活断層セ)
- P1-090 平成 19 年新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル (その 2)
 °国土地理院中越沖地震地殻変動解析グループ (国土地理院)
- P1-091 中越沖地震の静的断層モデルの検討: 地殻変動・津波データとテクトニクスによる考察
 °田淵裕司 (神戸大院自然)・原田智也・石橋克彦 (神戸大都市安全)
- P1-092 津波からみた平成 19 (2007) 年新潟県中越沖地震の震源像
 °行谷佑一・佐竹健治 (産総研)・谷岡勇市郎 (北大)・阿部邦昭 (日本歯科大)
- P1-093 2007 年新潟県中越沖地震での新潟平野における長周期地震動シミュレーション
 °佐藤浩章・東 貞成・佐藤清隆 (電中研)・山中浩明 (東工大)
- P1-094 2007 年新潟県中越沖地震による関東平野の長周期地震動 °古村孝志・地震研強震動グループ (東大地震研)
- P1-095 2007 年中越沖地震の余震観測による柏崎市の地盤震動特性の評価
 °山中浩明・元木健太郎・菅原達哉・佐伯圭彦・瀬尾和大 (東工大総合理工)
- P1-096 2007 年新潟県中越沖地震に伴う臨時強震観測
 °木村武志・石瀬素子・武村俊介・初山 将・坂上 実・田中康久・三宅弘恵・額縁一起・壁谷澤寿海 (東大地震研)
- P1-097 Data analysis of K-NET Kashiwazaki station to detect nonlinear soil behavior during strong shaking
 °津田健一・藤川 智・神原 浩 (清水建設)
- P1-098 柏崎市中心部における常時微動特性
 °大西良広・香川敬生・山本容維 (地盤研究財団)・神原 浩 (清水建設)・林 康裕・森井雄史・山田真澄・
 朴 舜千 (京大)・清水秀丸 (防災科研)
- P1-099 微動アレーを用いた新潟県柏崎市の S 波速度構造調査
 °後藤浩之 (京大防災研)・宮腰 研 (地盤研究財団)・凌 甦群 (ジオアナリシス研)・
 澤田純男 (京大防災研)・石井やよい・高島大輔・佐藤芳樹・新垣芳一 (京大工)
- P1-100 高田平野における常時微動特性 °山本容維・香川敬生・大西良広 (地盤研究財団)
- P1-101 新潟県中越沖地震被害地域における 3 次元重力基盤構造の推定
 °高橋千佳・鈴木優斗・赤松純平・盛川 仁 (東工大)
- P1-102 2007 年新潟県中越沖地震による柏崎市内の被害状況 °山添正稔・釜田正毅・森川 淳 (小堀研)
- P1-103 2007 年新潟県中越沖地震での墓石の転倒調査
 翠川三郎 (東工大総合理工)・三浦弘之 (東工大都市地震工セ)・°石井一徳 (東工大総合理工)・鬼頭順三・
 駒澤真人 (東工大総合理工)・佐藤慶一 (東工大都市地震工セ)
- P1-104 新潟県中越沖地震における墓石被害と地震動推定
 °山田真澄・朴 舜千 (京大次世代)・林 康裕・森井雄史・神原 浩・大西良広 (京大工)
- P1-105 柏崎刈羽原子力発電所で得られた 2007 年新潟県中越沖地震の強震記録について
 °田中英朗・森下日出喜・植竹富一 (東京電力)
- P1-106 五学会合同柏崎刈羽原子力発電所調査
 °司 宏俊 (構造計画研)・松崎伸一 (四国電力)・横井俊明 (建築研)

10月25日(木) 17:00~18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P2-001~P2-103)

地殻変動・GPS・重力

- P2-001 スマトラ断層近傍における GPS 連続観測網の構築
 °伊藤武男・Agustan・Irwan Meilano・木股文昭 (名大院環境)・小川康雄 (東工大火山流体セ)・
 田部井隆雄 (高知大理)

- P2-002 GPS 連続観測によるスマトラ—アンダマン地震の余効変動と 3D-FEM を用いた粘性緩和の影響について
 °片木 武・橋本 学 (京大防災研)・橋爪道郎 (チュラロンコン大理)・Nithiwatthn CHOOSAKUL・竹本修三・
 福田洋一・藤森邦夫 (京大理)・里村幹夫 (静岡大理)・伍 培明 (JAMSTEC)・大塚雄一 (名大 STE 研)・
 瀧口博士・丸山 隆・斎藤 享 (情報通信研究機構)・加藤照之 (東大地震研)
- P2-003 Postseismic deformation of the 2004 Sumatra Earthquake
 °イルワン メイラノ・木股文昭・伊藤武男・エフェンヂイ ダウツ (名大 RSVD)・田部井隆雄 (高知大理)・
 チヂク スギヤント (UNSYIAH)・ハサヌチン アビチン (ITB)・アグスタン (名大 RSVD)
- P2-004 GRACE Level-2 データから復元された 2004 年スマトラ・アンダマン地震による重力変化 (続報)
 °長谷川 崇・福田洋一・山本圭香 (京大院理)・孫 文科・奥野淳一 (東大地震研)
- P2-005 宿毛における連続歪記録から推定される, 1991 年豊後水道付近でのスロースリップイベントの可能性
 °寺石真弘・大谷文夫・園田保美 (京大防災研)
- P2-006 防災科研 Hi-net 傾斜計データによる短期的スロースリップイベントの時間発展インバージョン
 °廣瀬 仁・関根秀太郎・小原一成 (防災科研)
- P2-007 伊豆半島とその周辺の地殻歪分布と変動境界の推定
 °石川公美子・田部井隆雄 (高知大理)
- P2-008 2000 年伊豆諸島地震の終息期におけるマグマ貫入活動
 °小沢慎三郎・水藤 尚 (地理院)
- P2-009 国府津—松田断層帯周辺での光波連続測量とその気象補正
 °原田昌武・棚田俊収・伊東 博 (温泉地学研)
- P2-010 岐阜県土岐市 SN-3 号孔, SN-1 号孔で観測された歪・傾斜地震動に伴う地下水位変化
 °浅井康広・石井 紘・青木治三 (東濃地震科研)
- P2-011 間隙水圧測定によって得られた地震波形の解析
 °柳谷 俊・加納靖之 (京大防災研)
- P2-012 海底地殻変動観測における海中の温度・圧力連続計測
 °杉本慎吾・田所敬一・渡部 豪・奥田 隆・木元章典・武藤大介 (名大院環境)・佐柳敬造・
 長尾年恭 (東海大海洋研)・生田領野 (東大地震研)
- P2-013 GPS 観測データに基づく中部—近畿地方の地殻変動の運動学的モデリング
 °小澤和浩・鷲谷 威 (名大環境)
- P2-014 ALOS/PALSAR によって観測された, 2007 年 4 月 1 日 M8.1 ソロモン諸島地震に伴う地殻変動—現地調査に
 よる評価の重要性—
 °宮城洋介 (JAXA/EORC)・西村裕一 (北大地震火山セ)・島田政信 (JAXA/EORC)
- P2-015 PALSAR/InSAR から推定される 2007 年 4 月 1 日ソロモン諸島の地震 (M 8.1) に関する断層モデル
 °小澤 拓 (防災科研) 宮城洋介 (宇宙航空研究開発機構)
- P2-016 赤河断層・手賀野断層周辺の重力基盤構造
 °田中俊行・青木治三 (東濃地震科研) 下山みを・野崎京三 (応用地質)
- P2-017 地下水流動に伴う重力変化の水文学的検証
 °風間卓仁・大久保修平 (東大地震研)
- P2-018 アラスカ州南東部における氷河後退に伴う高速地殻隆起の総合測地観測—絶対重力観測網の拡充—
 °菅野貴之・孫 文科 (東大地震研)・三浦 哲・佐藤忠弘 (東北大)・Alexander Max Kaufman・
 Jeff Freymueller (UAF)
- P2-019 アラスカ州南東部における氷河後退に伴う高速地殻隆起の総合測地観測—長期的重力変化—
 °三浦 哲・佐藤忠弘・藤本博己 (東北大)・孫 文科・菅野貴之 (東大地震研)・A. Kaufman・
 J. Freymueller (UAF)
- 地震発生の物理
- P2-020 局所的な Thermal pressurization が引き起こすプレート境界巨大地震
 °三井雄太・平原和朗 (京大院理)
- P2-021 thermal pressurization を考慮した動的破壊過程: shear zone の厚さと断層の形の影響
 °浦田優美・久家慶子 (京大理)・加瀬祐子 (産総研)
- P2-022 巨大地震の表面波に相関して発生する深部低周波微動
 °宮澤理絵 (京大防災研)・Emily E. BRODSKY (Dept. Earth Sciences, UC Santa Cruz)
- P2-023 2004 年新潟県中越地震の震源域周辺の速度構造: 地震波形モデリングとトモグラフィ—イメージの検証
 °田島礼子・田島文子 (広大理)・加藤愛太郎 (東大地震研)

- P2-024 破壊合体フェーズ (Coalescence Phase) °亀 伸樹・内田浩二 (九大理)
- P2-025 有限要素法と境界積分方程式法を組み合わせた断層破壊の数値解析手法の開発
°後藤浩之 (京大防災研)・Jacobó Bielak (Carnegie Mellon Univ.)
- P2-026 1978年・2005年宮城県沖地震の動的震源モデル
°木村武志・額綱一起・三宅弘恵 (東大地震研)・呉 長江 (防災科研)・宮武 隆 (東大地震研)
- P2-027 2005年 Tarapaca 地震の動力学的破壊パラメータ °加瀬祐子 (産総研)・久家慶子 (京大理)
- P2-028 流体亀裂振動における流体粘性の影響 °山本 希 (東北大理)
- P2-029 2000年鳥取県西部地震域における S波スプリッティング解析
°石黒竜一朗・飯尾能久・片尾 浩・渋谷拓郎 (京大防災研)
- P2-030 西南日本沈み込み帯で発生する短期的スロースリップイベントのモデル化 (1)
°芝崎文一郎 (建築研)・布 樹輝 (筑波大情報工学)
- P2-031 2004年新潟県中越地震の余震の中で特異なメカニズム解を有する地震群 °小菅正裕 (弘前大理工)
- P2-032 台湾車籠埔断層における注水実験に伴う地下水の水圧・水質変化の観測
°村上雅紀・田中秀実 (東大)・郭 挺鈞・曹 昌為・GILETYCZ Suavek・陳 維民・王 乾盈・陳 家洵・
陳 洲生 (台湾国立中央大)・楊 燦堯 (国立台湾大)・馬 國鳳 (台湾国立中央大)
- P2-033 成層構造内で任意の形状をとる静的 SH型クラックの解析 °管 孝博・山下輝夫 (東大地震研)
- P2-034 Dynamic Rupture of an Interface between Two Extremely Dissimilar Media : Laboratory Experiments
°Koji UENISHI (Research Center for Urban Safety and Security, Kobe Univ.)・
Kazuhiro TSUJI (Graduate School of Science and Technology, Kobe Univ.)
- P2-035 ABICを用いた地震滑り分布のインバージョン解析における最適断層面サイズの決定とその理論的背景
°深畑幸俊 (東大理)

活断層と古地震

- P2-036 地震動の予測精度向上にむけた 内陸活断層情報のデータベース化とその活用
°楢原京子 (東北大院)・今泉俊文・大槻憲四郎 (東北大)・中田 高 (広島工大)・堤 浩之 (京大)・
高橋就一 (三菱商事)・橋森公亮 (Z会)・山本晋也 (UFJIS)・三輪敦志 (応用地質)
- P2-037 横手盆地東縁断層帯の地下構造と地形形成
°楢原京子 (東北大院)・今泉俊文 (東北大)・佐藤比呂志 (東大地震研)・三輪敦志 (応用地質)
- P2-038 長町一利府断層帯のトレースと地表形態からみた完新世の活動性
°吉田春香 (東北大院)・高橋就一 (三菱商事)・水本匡起 (東北大理)・森下信人・楢原京子・佐々木亮道・
鈴木啓明・田代祐徳 (東北大院)・今泉俊文・石山達也 (東北大)
- P2-039 大縮尺地図を用いた断層末端部付近における上下変位量の分布 —山形盆地南部を事例として—
°水本匡起 (東北大理研)・今泉俊文 (東北大理)
- P2-040 富士川河口断層帯安居山断層の古地震調査 °丸山 正 (産総研活断層セ)・斉藤 勝 (ダイヤコンサルタント)
- P2-041 跡津川断層東部、岐阜県飛騨市神岡町佐古における断層露頭とその意義 °道家涼介・竹内 章 (富山大)
- P2-042 跡津川断層クリープ域及び非クリープ域における活断層掘削 —跡津川掘削井と宮川掘削井—
°松田達生 (防災科研)・廣川智隆・田中秀実 (東大)・小村健太郎 (防災科研)
- P2-043 阿寺断層帯中部、中津川市加子母地区における古地震調査 (速報)
°廣内大助・安江健一 (愛工大)・道家涼介 (富山大)・佐藤善輝 (名大)・谷口 薫 (地震予知振興会)・
杉戸信彦 (名大)・内田主税 (玉野コンサル)・平松孝晋 (アジア航測)・北川早穂子 (富山大)・
坂本 勉 (福井大)・西村雄一郎・倉橋 奨 (愛工大)
- P2-044 仙台・石巻平野に襲来した歴史・先史時代の巨大古津波
°澤井祐紀・宍倉正展・岡村行信・松浦旅人・Than Tin Aung・小松原純子 (産総研)・
藤井雄士郎 (建築研)・佐竹健治・行谷佑一 (産総研)
- P2-045 静岡県御前崎の地層に記録された南海トラフの古地震
°藤原 治 (産総研活断層セ)・平川一臣 (北大地球環境)・入月俊明 (島根大総合理工)・長谷川四郎・
長谷義隆・内田淳一 (熊本大理)・阿部恒平 (筑波大地球生命)

- P2-046 元禄関東地震の断層モデルと外房における津波
 °佐竹健治・宍倉正展・行谷佑一（産総研）・藤良太郎・竹内 仁（国際航業）
- P2-047 鴻巣一吉見測線における反射法探査—綾瀬川断層周辺の地下構造—
 °横倉隆伸・加野直巳・山口和雄・牧野雅彦・田中明子・大滝壽樹・伊藤 忍・住田達哉（産総研地質情報）
- P2-048 横ずれ断層の変位に伴う岩盤の3次元変形過程—ヘリカル X 線 CT を用いたアナログ実験による検討—
 °上田圭一（電中研）
- P2-049 動力学的シミュレーションを用いた隣り合うふたつの活断層の連動破壊に関する研究（その2）
 °武藤真菜美・壇 一男・鳥田晴彦・大橋泰裕（大崎総研）・加瀬祐子（産総研）
 岩石実験・地殻応力
- P2-050 地震性滑りに伴う断層物質の帯磁率異常の実験的検証：台湾車籠埔断層コアを用いて
 °谷川 亘・徐 垣（高知コア研/海洋研究開発機構）・三島稔明（神戸大）・嶋本利彦（広島大）・
 廣野哲郎（大阪大学）
- P2-051 層状珪酸塩鉱物からの脱水による Thermal Pressurization の実験的検証
 °高橋美紀（産総研）・溝口一生（防災科研）・増田幸治（産総研）・谷川 亘（JAMSTEC）・
 廣瀬丈洋（INGV, Italy）・嶋本利彦（広島大）
- P2-052 間隙水の相変化に伴う断層強度の変化
 °溝口一生（防災科研）・高橋美紀・増田幸治（産総研）・福山英一（防災科研）
- P2-053 サーボ式高速剪断摩擦試験機の紹介
 °溝口一生・福山英一（防災科研）
- P2-054 ライザー掘削船「ちきゅう」による XLOT 実施と最小主応力値推定の一例
 °林 為人（JAMSTEC Kochi）・眞砂英樹（JAMSTEC CDEX）・山本晃司（JOGMEC）・
 木下正高（JAMSTEC IFREE）
- P2-055 地震時の摩擦発熱に伴う断層内物質の化学変化
 °濱田洋平・廣野哲朗（大阪大）・谷川 亘（JAMSTEC）・三島稔明（神戸大）・横山 正（大阪大）
 地震予知
- P2-056 869 年貞観地震（M 8.3）の陰暦 26 日での発生について
 °末 芳樹
- P2-057 深発地震の直後に発生する浅発地震の局地集中傾向
 °平道富作士（平道設備設計）
- P2-058 関東における中規模地震モデル（4）A. 一元化震源の利用
 °山本菜穂子・井元政二郎（防災科研）
- P2-059 関東における中規模地震モデル（4）B. 一元化震源のモデル
 °井元政二郎・山本菜穂子（防災科研）
- P2-060 最近の地震予報のための VHF 散乱波観測
 °森谷武男（北大理）・山本 勲（岡山理大）・茂木 透・高田真秀・西脇琴美（北大理）
- P2-061 Forecasting performance of the ETAS model in Japan and California : A comparison
 °庄 建倉・尾形良彦（統数研）・David D. Jackson（UCLA）
 地盤構造・地盤震動
- P2-062 微動観測による出雲市の地盤構造推定
 °足立正夫（米工高）・野口竜也・西田良平・大畑 至・山下 毅・小村紘平（鳥大）
- P2-063 札幌東部沈降部周辺における微動アレイ観測
 °吉田邦一・堀川晴央・加瀬祐子・丸山 正（産総研）
- P2-064 微動の H/V スペクトルと地質構造モデルから推定されるつくば市の地盤構造モデルの作成
 °先名重樹・新井 洋・工藤暢章・藤原広行（防災科研）
- P2-065 強震動評価のための九州地域の深部地盤構造モデル作成
 °藤原広行・早川 讓（防災科研）・鈴木晴彦・岩本綱司・松山尚典（応用地質）
- P2-066 大分平野南部における反射法地震探査
 °吉見雅行（産総研）・山田浩二・秋永康彦（阪神コンサルタンツ）
- P2-067 重力異常を用いた鳥取県西部の基盤構造推定
 °野口竜也・小村紘平・大畑 至・山下 毅・西田良平（鳥取大学）
- P2-068 重力異常の SA インバージョンによる大阪平野南北密度構造
 °井上直人・北田奈緒子（地盤研究財団）・竹村恵二（京大地熱）

- P2-069 岡山平野干拓地西部（興除，藤田）の3次元重力基盤構造
 °古賀史康（岡山理大院総合情報）・橋 義久（鷲山会倉敷シルバーセンター）・
 西村敬一（岡山理大総合情報）・駒沢正夫（産総研地質情報）
- P2-070 3D structure effects on local and near-regional seismic wave propagation in the San Francisco Bay Area°
 Ahyi Kim・Douglas Dreger（Berkeley Seismological Laboratory）・
 Shawn Larsen（Livermore National Laboratory）
- P2-071 Long-Period simulations of Osaka basin wave propagation due to subduction earthquakes
 °Ivo Oprsal・Tomotaka Iwata（DPRI, Kyoto University）
- P2-072 中国・四国・九州の三次元減衰構造と異常震域 °中村亮一（東電設計）
- P2-073 インコヒーレントな波動成分を考慮した地盤モデルの最適化解析 °池浦友則（鹿島技術研）
- P2-074 Experiments on the stability of SPAC and linear array method
 °ソス マルガリヤン・横井俊明（建築研国際地震工セ）
- P2-075 地盤の非線形応答度合いの指標化 °野口科子（北大理）・笹谷 努（北大工）
 リアルタイム地震情報
- P2-076 Real-time Estimation of Fault Rupture Extent using Acceleration Envelopes
 °山田真澄（京大次世代）・Tom Heaton（カリフォルニア工科大学）
- P2-077 稍深発地震の特征的周波数・最大速度振幅・モーメントマグニチュードと距離減衰の関係
 °西辻陽平・Jim MORI（京大防災研）
- P2-078 緊急地震速報処理における観測点補正值の検討 °中村浩二・清本真司（気象庁地震火山部）
- P2-079 緊急地震速報に基づく被害想定結果のばらつき °座間信作・遠藤 真（消防研究セ）
- P2-080 統合型強震動情報早期伝達ネットワークについて °鷹野 澄・鶴岡 弘・中川茂樹（東大地震研）
- P2-081 Ajax を用いたリアルタイム地震情報システムの開発 °鶴岡 弘・卜部 卓・中川茂樹（東大地震研）
- P2-082 名古屋大学における到達前地震情報活用システムの改良と機能強化
 °伊藤貴盛（応用地震計測）・林 能成（名大環境）
- P2-083 緊急地震速報の適用およびオンサイト警報との組合せによる信頼性向上
 °神田克久・那須 正・宮村正光・阿部雅史（鹿島小堀研）
 沈み込み帯のダイナミクスと地震・火山活動モデルの高度化
- P2-084 電磁波アクロスによる地殻深部のH₂Oの状態（比抵抗）変動検出
 °中島崇裕（静大理）・佐柳敬造（東海大海洋研）・藤井直之（静大理）・長尾年恭（東海大予知研）・
 國友孝洋・熊澤峰夫・里村幹夫・増田俊明（静大理）
- P2-085 海域監視アクロス計画 —海上曳航型弾性波アクロス送信機の開発に向けて—
 笠原順三（静大理，大陸棚調査）・°藤井直之（静大理）・渡辺俊樹（名大院地震火山セ）・熊澤峰夫・國友孝洋・
 中島崇裕（静大理）
- P2-086 インド・アンダマン諸島南部でのトレンチ調査からみたプレート境界の挙動
 °越後智雄（地盤研究財団）・宍倉正展（産総研活断層セ）・池田安隆・茅根創（東大理）・
 佐竹健治（産総研活断層セ）・加藤照之（東大地震研）・Javed N. MALIK（インド工科大学）・
 Shaikh R. BASIR・Gautam K. CHAKRABORTTY（インド地調）
- P2-087 紀伊半島下のフィリピン海プレートと蛇紋岩化マントルウェッジ
 °北脇裕太・澁谷拓郎・西村和浩・中尾節郎・福嶋麻沙代・三浦 勉・伊藤 潔・大見士朗（京大防災研）・
 小河和雄・平原和朗（京大理）
- P2-088 付加体断層岩の2類型 °山口飛鳥（東大理地球惑星）
- P2-089 繰り返し長期海底地震観測による東南海・南海地震の境界域における地震活動の空間変化
 °望月公廣・中東和夫・桑野亜佐子・山田知朗・篠原雅尚・酒井慎一・橋本信一・八木健夫・
 金沢敏彦（東大地震研）・植平賢司・内田和也・清水 洋（九大）
- P2-090 深部低周波微動発生領域での剪断応力速度の推定
 °中田令子・須田直樹（広島大院理）・鶴岡 弘（東大地震研）

- P2-091 和歌山県新宮市で観測される紀伊半島南部の深部低周波微動に同期した歪み変化について
 °福田真人・鷲谷 威 (名大)
- P2-092 南アラスカで発生する時定数の異なるスロースリップイベント
 °太田雄策 (東北大院理)・Jefferey T. Freymueller (アラスカ大学フェアバンクス校)・
 三浦 哲 (東北大院理)
- P2-093 GPS データから推定された東北地方のプレート間カップリングの時空間変化 —2002 から 2006 年まで—
 °飯沼卓史・三浦 哲・内田直希・佐藤俊也・立花憲司・長谷川 昭 (東北大院理)
- P2-094 長期観測型海底地震計ネットワークによる日本・千島海溝会合部における微小地震観測
 °桑野亜佐子・篠原雅尚・山田知朗・望月公廣・中東和夫・酒井慎一・橋本信一・八木健夫・
 金沢敏彦 (東大地震研)・東 龍介・日野亮太 (東北大院理)・町田祐弥・雨宮晋一郎・
 三浦 亮・村井芳夫・高波鐵夫 (北大院理地震火山セ)
- P2-095 関東地方のフィリピン海プレート北端付近に線状配列する相似地震の詳細分布
 木村尚紀・行竹洋平・°武田哲也・小原一成 (防災科研)
- P2-096 2006 年サモア・アウターライズ地震の震源過程解析
 °刀禰茂康 (東大地震研)・山中佳子 (名大)・宮武 隆 (東大地震研)・小笠原 宏・川方裕則 (立命大)
- P2-097 伊豆小笠原島弧北部 (紀伊海山~明神礁~明神海山及び青ヶ島東方沖) における反射法地震探査
 °野 徹雄・瀧澤 薫・高橋成実・小平秀一・金田義行 (海洋研究開発機構)
- P2-098 中部伊豆小笠原島弧 (古座海山~日曜海山~小笠原トラフ~伊豆小笠原海溝) における反射法地震探査 (序報)
 °瀧澤 薫・野 徹雄・高橋成実・小平秀一・金田義行 (海洋研究開発機構)
- P2-099 反射法地震探査データを用いたフィリピン海周辺における海洋性地殻-非海洋性地殻遷移帯の構造解析
 °山下幹也・高橋成実・小平秀一・瀧澤 薫・金田義行 (海洋研究開発機構)・
 神田慶太 (石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
- P2-100 海底地震計観測による北部伊豆小笠原の地震波速度構造
 °尾鼻浩一郎・神谷眞一郎・小平秀一・末次大輔・高橋成実・高橋 努・田村芳彦・
 阪口 秀 (海洋研究開発機構)
- P2-101 島弧火成活動とリフト活動の影響がみられるマリアナトラフ北端部の地殻・最上部マントル構造
 °三浦誠一・小平秀一・高橋成実・藤江 剛・佐藤 壮・山下幹也・海宝由佳・野 徹雄・瀧澤 薫・
 金田義行 (海洋研究開発機構)
- P2-102 東北地方における深部低周波地震の精密震源再決定と 3 次元速度構造の推定
 °新居恭平・岡田知己・植木貞人・中島淳一・趙 大鵬・長谷川 昭 (東北大)
- P2-103 大地震のタイミング —月の 18.6 年サイクルによる応力蓄積過程の変動に関する統計的な検討
 °ペトウヒン アナトリ (地盤研究財団)・GUSEV Alexander (Inst. of Volcanology and Seismology, Russia)

10月26日(金) 13:15~14:45 ポスター会場

ポスターセッション (P3-001~P3-088)

テクトニクス

- P3-001 新しい応力逆解析法による琉球弧における発震機構データを用いた応力区の設定
 °大坪 誠 (産総研)・久保篤規 (高知大)・山路 敦 (京大)

地球熱学

- P3-002 地殻熱流量と地震発生層の厚さの相関性
 °松本拓己 (防災科研)

地殻構造

- P3-003 Attenuation estimation from VSP data by using the frequency shift method
 °ジャファー・ガンドミ アラシュ・竹中博士 (九大)

- P3-004 南ア金鉱山震源極近傍で観測された相似な地震波形を利用した地震波伝播特性の時間変化検出の試み
 °吉光奈奈・山本覚仁・川方裕則・小笠原 宏 (立命大)・飯尾能久 (京大)・A. J. MENDECKI・
 G. VAN ASWEGEN (ISSI)・R. EBRAHIM-TROLLOPE (Geohydroseis CC)・
 南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ
- P3-005 跡津川断層近傍の地震波減衰構造 —遠地地震によるQ トモグラフィ—
 °津村紀子・森 智之・山本修治 (千葉大理) 加藤愛太郎・蔵下英司・平田 直・岩崎貴哉・
 飯高 隆 (東大地震研)
- P3-006 中央天山山脈における地殻内の地震波速度構造
 °オムラリエヴァアトムジャン・中島淳一・長谷川 昭 (東北大)
- P3-007 2006 年紀伊半島東部構造探査 II
 °岩崎貴哉・飯高 隆・蔵下英司 (東大地震研)・片尾 浩 (京大防災研)・金田義行 (海洋研究開発機構)・
 2006 年紀伊半島東部構造探査グループ
- P3-008 和泉山脈南縁における中央構造線の地殻構造 —大大特和泉測線 2006 の屈折法— 広角反射法解析—
 °新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志 (東大地震研)・伊藤 潔 (京大防災研)・平田 直・
 加藤直子 (東大地震研)・阿部 進・川中 卓 (地科研)
- P3-009 vertical レシーバ関数による紀伊半島下の地殻・最上部マントル構造のイメージング
 °小河和雄・平原和朗 (京大院理)・澁谷拓郎 (京大防災研)
- P3-010 P 波走時トモグラフィ—による紀伊半島下の三次元波異方性速度構造
 °石瀬素子・額綱一起・三宅弘恵 (東大地震研)
- P3-011 日本列島標準地殻・プレート構造モデルの構築 (1) 探査データ等のコンパイル
 °石瀬素子・額綱一起・三宅弘恵 (東大地震研)
- P3-012 Ps 変換波から推定される西南日本の地殻の異方性 °長屋 守・赤澤宏和・小田 仁 (岡大自然科学)
- P3-013 P 波レシーバ関数によって推定された西南日本の最上部マントル異方性
 °赤澤宏和・長屋 守・小田 仁 (岡大自然科学)
- P3-014 中国地方における地殻内不均質構造と地震発生 °土井一生・西上欽也 (京大防災研)
- P3-015 Attenuation structure in the source region of the low-frequency earthquakes in the Bungo channel and
 Shikoku area, Japan
 °Andri Dian NUGRAHA・Jim MORI (DPRI)
- P3-016 レシーバ関数による九州中南部の地下構造の解析
 °安部祐希・大倉敬宏 (京大理火山研)・平原和朗 (京大理地物)・加藤 護 (京大人環)
- P3-017 ハーフグラベン (地下基盤のV 字谷構造) と深さ 10 km での P 波高速地帯の一致 °大石幸男
- P3-018 マルチチャンネル反射法地震探査からみた南部千島海溝・根室沖の沈み込み
 °三浦 亮・高波鐵夫 (北大理地震火山セ)・中村恭之・徳山英一 (東大海洋研)
- P3-019 日本海溝・千島海溝会合部における地殻構造探査
 °中東和夫・桑野亜佐子・山田知朗・望月公廣・篠原雅尚・酒井慎一・八木健夫・橋本信一・
 金沢敏彦 (東大地震研)・町田祐弥・三浦 亮・雨宮晋一郎・村井芳夫・
 高波鐵夫 (北大観測セ)・東 龍介・日野亮太 (東北理)
- P3-020 海底地震計を用いた制御震源地震探査による千島海溝南部における地震波速度構造
 °町田祐弥・高波鐵夫・村井芳夫・雨宮晋一郎・西村裕一 (北大理地震火山セ)・篠原雅尚・望月公廣・
 山田知朗・中東和夫・桑野亜佐子・金沢敏彦 (東大地震研) 日野亮太・
 東 龍介 (東北大理地震噴火予知セ)
- P3-021 日本海溝域における OBS—エアガン探査の水平動データを活用した解析の試み
 °藤江 剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行 (海洋研究開発機構)
- P3-022 関東東方沖におけるプレート構造と地震活動
 °上野友岳・木村尚紀・武田哲也 (防災科研)・笠原敬司 (東大地震研/防災科研)・鶴 哲郎 (コスモ)・
 小原一成 (防災科研)

- P3-023 小笠原海台南東斜面域における精密地殻構造
 °及川光弘・西澤あずさ・森下泰成・金田謙太郎・加藤幸弘（海上保安庁海洋情報部）・
 外池邦臣（日本大陸棚調査）
- P3-024 屈折法・広角反射法地震探査によるマリアナ島弧の地殻構造
 °蔵下英司（東大地震研）・Simon Klemperer（Stanford Univ.）・Andrew Calvert（Simon Fraser Univ.）・
 高橋成実（海洋研究開発機構）
- P3-025 南西諸島海溝北端部の沈み込み構造（2）
 °西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘（海洋情報部）・笠原順三（日本大陸棚調査）
- P3-026 奄美大島周辺域の三次元地震波速度構造と地震活動
 °森脇 健（気象庁）・八木原寛・後藤和彦・宮町宏樹・角田寿喜（鹿児島大理）・西野 実・
 日野亮太（東北大理）・塩原 肇・金澤敏彦（東大地震研）・植平賢司（九大理）
- P3-027 沖ノ島以南九州・パラオ海嶺におけるマルチチャンネル反射法地震探査（速報）
 °渡邊奈保子・西澤あずさ・森下泰成・金田謙太郎・及川光弘・加藤幸弘（海上保安庁海洋情報部）・
 外池邦臣（日本大陸棚調査）
- P3-028 南鳥島周辺海山群の地震波速度構造：海山下の最上部マントル速度構造の多様性
 °金田謙太郎・西澤あずさ（海上保安庁海洋情報部）・上村 彩（川崎地質）・笠原順三（日本大陸棚調査）
- 地震活動
- P3-029 b 値の見かけ上の深さ変化？ °石辺岳男・島崎邦彦（東大地震研）
- P3-030 震源分布の相関次元とそのスケーリング関係 °都筑基博・小山順二（北大院理自然史）
- P3-031 1997 年以後の変位マグニチュードと速度マグニチュードの比較 °勝間田明男（気象研）
- P3-032 1994 年以降に発生した Mw≥7.2 地震の余震震源再決定と本震断層面 °古川信雄（建築研国地セ）
- P3-033 わが国とその周辺の地震についての ISC 震源の評価—ISC で利用を検討している速度構造モデル—
 °森 滋男（気象研）・干場充之（気象庁）・高濱 聡（大阪管区気象台）・石川有三（気象庁）・
 伊藤秀美（沖縄気象台）
- P3-034 2006・2007 年千島海溝プレート間・アウターライズ地震の前震・本震・余震の同時震源再決定
 °原田智也・石橋克彦（神戸大都市安全）
- P3-035 The Foreshock and Aftershock Sequences of the Kuril Islands Earthquakes in 2006 and 2007
 °乗松君衣・モリ ジェームズ（京大防災研）
- P3-036 北海道東方沖に見られる月の位置に対応した震央分布およびその移動 °末 芳樹
- P3-037 十勝沖でのクラスター相似地震の抽出（2）
 °雨宮晋一郎・高波鐵夫（北大地震火山セ）・渡邊智毅（マリンワーク・ジャパン）
- P3-038 日本海溝海側斜面下の地震活動 —2005 年三陸沖地震震源域における海底地震観測—
 °山田知朗・八木健夫・橋本信一・酒井慎一・篠原雅尚・金沢敏彦（東大地震研）・山本揚二郎・
 日野亮太（東北大）
- P3-039 アスペリティ相互作用が地震発生サイクルに与える影響の評価 —宮城県沖をモデルにして—
 °オノ木順太・平原和朗（京大・理）・加藤尚之（東大・地震研）・堀 高峰（海洋研究開発機構）
- P3-040 活断層周辺の震源と高感度地震観測網の観測点の分布 °石黒顕吾・長谷見晶子（山形大理）
- P3-041 地震発生層の地域変化と内陸大地震 °伊藤 潔（京大防災研）
- P3-042 北陸地域での地震分布（2）1976-2006
 °竹内文朗・澁谷拓郎・松村一男・平野憲雄・西上欽也（京大防）・岡本拓夫（福井高専）
- P3-043 長野県西部地震の震源断層に関する再評価 °青柳恭平・阿部信太郎・井上大榮（電中研）
- P3-044 2001 年箱根群発地震に伴って観測された S 波スプリッティングの時間変化
 °本多 亮・棚田俊收（温泉地学研）
- P3-045 神奈川県西部における地震クラスターの活動とメカニズム解
 °棚田俊收・本多 亮（温泉地学研）・行竹洋平（防災科技研）・原田昌武・伊東 博・永井 悟（温泉地学研）

- P3-046 中国・四国地方における地殻内地震発生層
 °西尾龍象・山本明彦（愛媛大院理工）・久保篤規（高知大理）
- P3-047 Distribution of Dynamic and Static Stress Drops during the 2002 Eastern Tottori Earthquake
 °日浦 一・James MORI（京大防災研）
- P3-048 2007年6月6日から始まった大分県中部の地震活動
 瀧山弘明・上之園正利・山内 博・池田 敦・緒方 誠・下川雅章・手島大地・
 細野耕司（福岡管区气象台）・鎌谷紀子（気象庁地火部）
- P3-049 Mw2~3 級震源極近傍における2年間の相似地震活動—南アフリカ Bambanani 金鉱山
 °山本覚仁・小笠原宏・川方裕則・吉光奈奈（立命大）・飯尾能久（京大）・A. J. MENDECKI・
 G. VAN ASWEGEN（ISSI）・R. EBRAHIM-TROLLOPE（Geohydroseis CC.）・
 南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ
- P3-050 Flash を用いた3次元震源分布表示
 強震動・地震災害
 °鳥海哲史・鷹野 澄（東大地震研）
- P3-051 最近の震源近傍強震記録の特徴（その1. 傾斜運動）
 °木下繁夫（横浜市大）
- P3-052 最近の震源近傍強震記録の特徴（その2. 非線形応答）
 °木下繁夫・木暮晃子（横浜市大）
- P3-053 最近発生した地殻内大地震の高域遮断フィルタ— 検討対象地点の硬軟によるスペクトル低減傾向の違い—
 °鶴来雅人・香川敬生（地域地盤環境研）・入倉孝次郎（愛知工大）
- P3-054 強震観測記録に見られる震源放射特性の影響
 °木股浩孝・泉谷恭男（信州大学工）
- P3-055 S波のラディエーションパターンの周波数依存性
 °武村俊介・古村孝志・齊藤竜彦（東大地震研）
- P3-056 Variability of ground motion parameters based on the correlated random source parameters
 °津田健一（清水建設）
- P3-057 数値シミュレーションによる短周期地震波の成因の考察：すべりの不均質性の効果
 °隅谷謙一・宮武 隆・木村武志・三宅弘恵（東大地震研）
- P3-058 広帯域震源過程推定のためのウェーブレット係数を用いた震源インバージョン手法の開発（2）
 °鈴木 亘・岩田知孝（京大防災研）
- P3-059 2007年能登半島地震の震源モデルと震源近傍地震動の特徴
 °引田智樹（鹿島技術研）
- P3-060 距離減衰式を用いた観測点のサイト増幅特性評価
 °森川信之・藤原広行・青井 真・功刀 卓・中村洋光・安達繁樹（防災科研）
- P3-061 強震動の予測可能性：2003年十勝沖地震のシミュレーション
 °安藤亮輔・福山英一・青井 真（防災科研・CREST/科学技術振興機構）・橋本千尋・
 松浦充宏（東大・CREST/科学技術振興機構）
- P3-062 東京湾岸における広帯域強震観測 その3 2007年能登半島地震と2007年新潟県中越沖地震の長周期後続波
 °植竹富一・徳光亮一（東京電力）
- P3-063 レイリー波振幅比インバージョンによる関東平野のS波速度構造（1）：F-net サイトでの検証
 °田中康久・額綱一起・三宅弘恵（東大地震研）・谷本俊郎（カリフォルニア大サンタバーバラ校）
- P3-064 中川低地帯における1923年関東地震の広帯域地震動の再現計算
 °関口春子・田邊 晋（産総研）・石原与四郎（福岡大）・吉田邦一・木村克己（産総研）
- P3-065 諏訪盆地における地震応答特性
 °一噌真佐志・泉谷恭男（信州大工）
- P3-066 若狭湾周辺の地殻内地震の記録を用いたスペクトルインバージョン解析
 °佐藤智美・壇 一男（大崎総研）・岡崎 敦（関西電力）・羽田浩二（ニュージェック）
- P3-067 黄檗断層近傍の強震動評価
 °香川敬生・大西良広（地域地盤環境研）・岩田知孝・澤田純男（京大防災研）
- P3-068 大阪平野における長周期地震動特性に関する一考察
 °赤澤隆士（地盤研究財団）
- P3-069 大震災後の早期事業再開のための大学向け安否確認システム
 °林 能成・梶田将司・太田芳博・若松 進・田中京子・木村玲欧・鈴木康弘・飛田 潤・間瀬健二（名大）

P3-070 市町村地震応急対応に見る余震の影響について —2000年鳥取県西部地震と2004年新潟県中越地震との比較から—

°小山真紀（東濃地震科研）

P3-071 新潟県中越地震による斜面被害の要因について

°北田奈緒子・井上直人・（地盤研究財団）・吉村 貢（SRE）・三村 衛（京都大防災研）・大塚 悟（長岡技大）・村上貴志（地盤研究財団）

津波

P3-072 太平洋沿岸で観測された2006年千島列島沖地震津波の減衰過程

°林 豊（気象研）・越村俊一・今村文彦（東北大）

P3-073 2006年及び2007年千島地震の津波後続波と震源周辺における海底地形の影響

°中村武史・金田義行（JAMSTEC）

P3-074 2006年11月と2007年1月の千島列島地震の津波波源モデル（2）

°藤井雄士郎（建築研）・佐竹健治（産総研）

P3-075 VOF法による短波長津波遡上の数値計算

°中村 衛（琉球大理）

学校教育と知識普及

P3-076 小学校6年「大地のつくり（地震）」につながる小学校3,4年向け地震学習教材の開発と授業実践研究

°根本泰雄（桜美林大自然科学）・入潮令子（赤穂市立塩屋小）

P3-077 日本地震学会（学校教育委員会）主催の教員サマースクール（三宅島）の実施報告

°荒井賢一（栄東高校）

地震一般

P3-078 フリーソフトで地震防災 GIS+Data Base

°横井俊明（建築研国際地震工セ）・森 亮（オークニー）

P3-079 同時観測された広帯域地震記録と精密気圧変動記録のマルチチャンネル解析の試み

°石原 靖・Philippe Gaillot・深尾良夫（IFREE/JAMSTEC）

P3-080 常時地球自由振動で観測される大気—固体地球音響カップリングの時間変動

°久須見健弘・須田直樹（広大院理）・小林直樹（東工大地惑）

P3-081 2004年スマトラ島沖地震の震源近傍における観測波形について

°坪井誠司・石原 靖・幸 良樹（IFREE/JAMSTEC）

P3-082 福井県奥越地域及びその周辺における地震の発生特性

°岡本拓夫（福井高専）・平野憲雄・和田博夫・竹内文朗・西上欽也・伊藤 潔（京大防災研）

P3-083 高レベル放射性廃棄物処分における地震・断層活動に起因する変動シナリオのための情報整理の考え方

°川村 淳・島田耕史・丹羽正和・黒澤英樹・石丸恒存・大井貴夫・安江健一・新里忠史・浅森浩一・河内 進・牧野仁史（原子力機構）

P3-084 紀伊半島における地下水・歪・地震観測開始について ～東南海・南海地震予測に向けて

°板場智史・北川有一・今西和俊・小泉尚嗣・高橋 誠・松本則夫・佐藤 努・大谷 竜（産総研）

P3-085 低温の沈降プレートを挟む上部マントルが高温である理由と、竜巻からX線が発生していることの関係

°間瀬博文

地震予知に向けた総合的応力集中モデルの構築と検証

P3-086 南海トラフ沿いの海底地殻変動観測～東海沖海底の地殻変動～

°齋藤宏彰・佐藤まりこ・松本良浩・浅倉宜矢・石川直史・河合晃司・藤田雅之・矢吹哲一朗（海洋情報部）・望月将志・浅田 昭（東大生研）

P3-087 日本海溝沿いの海底地殻変動観測～福島沖海底の地殻変動～

°齋藤宏彰・佐藤まりこ・松本良浩・浅倉宜矢・石川直史・河合晃司・藤田雅之・矢吹哲一朗（海洋情報部）・望月将志・浅田 昭（東大生研）

P3-088 平面歪問題による沈み込み帯の歪・応力状態のモデル化

°落 唯史・加藤照之（東大地震研）